

参考資料： 主要統計のデータ特性把握【詳細分析】

【1-1】青果物卸売市場調査_統計概要

■ 全国の青果物卸売市場における青果物卸売会社の卸売数量と価格を把握できる統計。

統計概要

統計名	青果物卸売市場調査
統計分類(分類1・2)	確報_令和元年青果物卸売市場調査報告 確報_令和2年青果物卸売市場調査報告
統計内容	全国の青果物卸売市場及びJA全農青果センターで取り扱った青果物の主要品目について、卸売数量、卸売価格を取り纏めた統計。 - 調査は、農林水産大臣官房統計部及び地方組織(地方農政局、北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センター)を通じて実施している。 - 調査対象となる青果物卸売会社は、「中央卸売市場が開設されている都市」、「県庁が所在する都市」の場合は、青果物卸売会社のうち年間取扱数量の多い方から順にそれぞれの都市の年間取扱数量の80%をカバーするまでの青果物卸売会社等を対象としている。 - 調査品目・品種は野菜50品目・品種、果実44品目・品種とし、各々の卸売数量及び卸売価格を調査している。 - 集計は調査積上げ値と推計(全国計)を併用。
提供周期	年次
最新調査年月	2020年

調査データ

調査データ名称	- 令和元年青果物卸売市場調査報告_野菜の卸売数量・価額・価格_全国及び主要都市の野菜の卸売数量・価額・価格 - 令和元年青果物卸売市場調査報告_果実の卸売数量・価額・価格_全国及び主要都市の果実の卸売数量・価額・価格 - 令和元年青果物卸売市場調査報告_参考_野菜 - 令和元年青果物卸売市場調査報告_参考_果実 - 令和2年青果物卸売市場調査報告_野菜の卸売数量・価額・価格_全国及び主要都市の野菜の卸売数量・価額・価格 - 令和2年青果物卸売市場調査報告_果実の卸売数量・価額・価格_全国及び主要都市の果実の卸売数量・価額・価格 - 令和2年青果物卸売市場調査報告_参考_野菜 - 令和2年青果物卸売市場調査報告_参考_果実
調査データ上の主な項目	- 全国及び主要都市の青果物卸売市場の野菜・果実(輸入含む)の卸売数量と卸売価格 - JA全農青果センター(東京センター、神奈川センター、大阪センター)の野菜・果実(輸入含む)の取扱数量、取扱価格
主な用語の定義	卸売数量・卸売価格 - 青果物卸売市場で、「せり」、「入札」、「相対」の方法で取引された数量(転送含む)、価格(消費税含む)。 JA全農青果センター - 全国農業協同組合連合会が消費都市及びその周辺地域において一定の施設を備え、継続的に生鮮食料品の集分荷、価格形成、決済などを行い、卸売市場に代替する機能を果たしているものをいう。

【1-1】青果物卸売市場調査_データの項目・粒度

- 青果卸売市場で取引される野菜 約50品目・品種、果実 約44品目・品種の卸売数量・価格の把握が可能。
- 野菜・果実の過去の取扱数量の記載があり、市場流通と市場外流通の変化も把握できる。

「青果物卸売市場調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 全国の青果物卸売市場、主要都市の青果物卸売市場、JA全農青果センターについて、過去5年間の卸売数量と価格の合計値と前年対比(JA全農青果センターの場合は、取扱数量・価格)が記載されている。その上で、調査対象年については、野菜約50、果実約44の品目・品種別の卸売数量と価格が記載されている。
- 主要都市の青果卸売市場とJA全農青果センターについては、輸入品の数量と価格の記載もある。
- 野菜、果実の記載品目・品種は以下の通り。

【野菜】品目・品種		
だいこん	しゅんぎく	さやえんどう
かぶ	セルリー	実えんどう
にんじん	アスパラガス	そらまめ
ごぼう	カリフラワー	えだまめ
たけのこ	ブロッコリー	かんしょ
れんこん	レタス	ばれいしょ
はくさい	パセリ	さといも
みずな	きゅうり	やまのいも
こまつな	かぼちゃ	たまねぎ
ちんげんさい	なす	にんにく
キャベツ	トマト	しょうが
ほうれんそう	ミニトマト	生しいたけ
ねぎ	ピーマン	なめこ
ふき	ししとうがらし	えのきだけ
うど	スイートコーン	しめじ
みつば	さやいんげん	

【果実】品目・品種		
みかん	西洋なし	メロン
ネーブルオレンジ(国産)	かき	温室メロン
甘なつみかん	甘がき	アンデスメロン
いよかん	渋がき(脱渋を含む。)	すいか
はっさく	びわ	キウイフルーツ
りんご	もも	
つがる	すもも	
ジョナゴールド	おうとう	
王林	うめ	
ふじ	ぶどう	
日本なし	デラウェア	
幸水	巨峰	
豊水	その他のぶどう	
二十世紀	くり	
新高	いちご	

○

【1-1】青果物卸売市場調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については、青果のみ卸売数量と卸売価格の把握が可能。
- 調査対象品目では葉茎菜類に属するキャベツの卸売数量と卸売価格の把握が可能。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果							○							
	キャベツ						○							
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【1-1】青果物卸売市場調査_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門の青果の卸売価格の合計は、2019年は29,960億円、2020年は30,644億円。
- その内、キャベツの卸売価格は2019年は1,013億円、2020年は1,148億円となっている。

加工データ【1-1-1】

青果物卸売市場の卸売価格に関する統計値

(2019年数値 単位:億円)

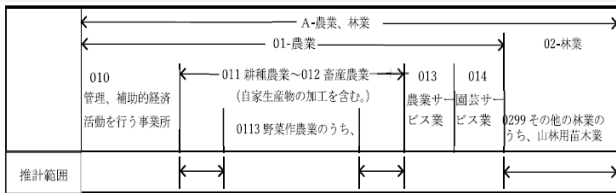
項目		【2019年】全国青果卸売市場						【2020年】全国青果卸売市場						部門・品目	
		うち主要都市卸売市場		うちJA全農青果センター		うち主要都市卸売市場		うちJA全農青果センター							
		卸売価格	うち輸入	卸売価格	うち輸入	取扱価格	うち輸入	卸売価格	うち輸入	卸売価格	うち輸入	取扱価格	うち輸入		
青果		29,960.2	1,566.5	22,067.0	1,151.4	1,300.0	28.7	30,644.7	1,509.3	22,807.3	1,461.0	1,427.0	23.5	部門	品目
野菜計		19,791.3	0.0	14,592.7	0.0	965.5	0.0	20,420.9		15,243.7	344.4	1,082.1	2.4	青果	
根菜類		1,858.3	0.0	1,370.2	0.0	76.3	0.0	2,060.9		1,538.4	0.0	88.0	0.0		
だいこん		660.8		487.2		24.6		693.7		517.8		27.1			
かぶ		81.1		59.8		2.5		79.1		59.0		2.7			
その他根菜類		1,116.4		823.2		49.3		1,288.1		961.6		58.2			
葉茎菜類		3,921.0	0.0	2,891.0	0.0	159.5	0.0	4,236.2	0.0	3,162.2	0.0	191.3	0.0		
はくさい		497.3		366.7		12.0		613.3		457.8		16.6			
みずな		133.6		98.5		6.3		119.8		89.4		6.8			
こまつな		257.9		190.2		14.3		270.8		202.1		16.8			
キャベツ		1,013.0		746.9		47.5		1,148.0		857.0		63.1		キャベツ	
その他の葉茎菜類		2,019.2		1,488.8		79.4		2,084.3		1,555.9		88.0			
洋菜類		2,029.4	0.0	1,496.3	45.1	96.4	0.3	1,900.8		1,418.9	40.8	101.8	0.3		
アスパラガス		299.7		221.0	36.3	13.2	0.3	274.9		205.2	33.5	13.1	0.3		
ブロッコリー		608.0		448.3	8.8	36.4		612.9		457.5	7.3	38.1			
その他洋菜類		1,121.7		827.0	0.0	46.9		1,013.0		756.1	0.0	50.6	0.0		
果菜類		5,680.8	0.0	4,188.6	97.4	352.5	0.9	5,917.9		4,417.5	95.2	389.1	1.0		
きゅうり		1,380.0		1,017.5		80.1		1,485.9		1,109.2		91.5			
かぼちゃ		369.4		272.3	97.4	15.8	0.9	383.8		286.5	95.2	18.6	1.0		
その他果菜類		3,931.5		2,898.8	0.0	256.7		4,048.2		3,021.9	0.0	279.0	0.0		
豆類		456.9	0.0	336.9	3.0	23.3	0.0	435.8		325.3	2.5	23.0	0.0		
さやいんげん		116.3		85.7		3.5		108.8		81.2		4.0			
さやえんどう		121.0		89.2	3.0	5.6		117.9		88.0	2.5	5.9	0.0		
実えんどう		36.8		27.1		1.7		33.2		24.8		1.4			
そらまめ		41.4		30.5		2.1		38.4		28.7		1.7			
えだまめ		141.5		104.3		10.4		137.5		102.7		10.1			
土物類		3,076.3	0.0	2,268.2	54.7	153.9	0.1	3,233.5		2,413.7	46.3	174.9	0.0		
たまねぎ		1,076.2		793.5	19.5	47.7		925.1		690.6	12.1	45.5			
にんにく		150.4		110.9	22.0	8.6	0.1	161.5		120.5	21.9	10.7	0.0		
しょうが		197.4		145.6	13.2	6.8		188.5		140.7	12.3	7.5			
その他土物類		1,652.2		1,218.2	0.0	90.9		1,958.4		1,461.9	0.0	111.3	0.0		
きのこ類		1,039.0	0.0	766.1	3.0	50.7	0.0	1,061.4		792.3	2.3	57.8	0.0		
生しいたけ		435.2		320.9	3.0	16.5		437.8		326.8	2.3	19.6			
なめこ		72.5		53.4		4.3		74.3		55.5		4.5			
その他きのこ類		531.3		391.8		29.9		549.3		410.1	0.0	33.8	0.0		
その他の野菜		1,729.7	0.0	1,275.3	181.7	52.8	1.3	1,574.5		1,175.3	157.3	56.1	1.1		
果実計		10,168.8	1,566.5	7,474.3	1,151.4	334.5	28.7	10,223.8	1,509.3	7,563.6	1,116.6	344.9	21.1		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-2】生産農業所得統計_統計概要

■ 農業総産出額及び各農産物の産出額を把握できる統計。

統計概要

統計名	生産農業所得統計
統計分類(分類1・2)	確報_令和元年生産農業所得統計 確報_令和2年生産農業所得統計
統計内容	農産物の産出額及び生産農業所得を推計し、農業生産の実態を金額で評価することにより、農政の企画やフォローアップに資する資料を提供することを目的とした統計。 本統計の推計範囲は、下図の概念図において矢印の推計範囲で示す日本標準産業分類に属する事業所から生産される農産物(山林用苗木を含み、きのこ類の栽培及び蚕種の生産を除く)及び加工農産物である。 
提供周期	年次
最新調査年月	2020年

調査データ

調査データ名称	- 確報_令和2年生産農業所得統計_全国推計統計表(累年)_実額 - 確報_令和2年生産農業所得統計_分析指標_主要農産物の産出額と構成割合(100位まで) - 確報_令和元年生産農業所得統計_分析指標_主要農産物の産出額と構成割合(50位まで)
調査データ上の主な項目	- 耕種、畜産、加工農産物の農業総産出額及び生産農業所得 - 主要農産物の産出額及び構成比(令和元年は産出額50位、令和2年は100位までの農産物の産出額・構成比の把握が可)
主な用語の定義	農業総産出額 - 農業生産活動による最終生産物の品目ごとの生産量に、品目毎の農家庭先販売価格(全国平均)(消費税を含む)を乗じた額を合計して求めたものである。 農家庭先販売価格 - 農業経営体から出荷した時点における価格であり、具体的には、集出荷団体に出荷した場合に、集出荷団体からの受取価格。(青果物卸売市場における卸売価格から卸売手数料等をはじめとした集出荷・販売経費を控除したもの、直売所に委託販売した場合は、直売所における販売価格から直売所に支払う手数料、包装荷造費、運搬に要した燃料費等を控除したもの)

【1-2】生産農業所得統計_データの項目・粒度

- 耕種、畜産、農産加工の分類で農業産出額を把握でき、更に耕種は米、雑穀、野菜、果実等、畜産は肉用牛、乳用牛の区分で農業産出額を把握できる。
- 項目を加工して集計することで青果、穀物の農業産出額の把握も可能。

「生産農業所得統計」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 産出額の把握が可能な項目の粒度は、大きくは耕種、畜産、加工農産物の3つで、耕種、畜産については下図の通り、詳細な項目に分けて記載されている。
- 昭和30年から調査対象年次までの農業総産出額と生産農業所得の金額が年次別に記載されている。
- 本統計データの分析指標の中に「主要農産物の産出額と構成割合」データがあり、2019年は50位まで、2020年では100位までの農産物(品目)の産出額と構成比が記載されている。

【データ把握可能な項目・粒度】

耕種	
米	
麦類	
雑穀	
豆類	
いも類	
野菜	
	果菜類
	茎葉類□
	根菜類
果実	
花き	
工芸農作物	
その他農産物	

畜産	
肉用牛	
乳用牛	
	生乳
豚	
鶏	
	鶏卵
	ロイロ ー□
養蚕□	
その他畜産物	
加工農産物	

○

【1-2】生産農業所得統計_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については青果、穀物、畜産の3分門についての産出額の把握が可能。
- 品目は米、牛肉に加え、分析指標データの「主要農産物の産出額と構成割合」を組み合わせることでキャベツ、大豆についても産出額の把握が可能。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果		○												
	キャベツ	○												
穀物		○												
	米	○												
畜産		○												
	牛肉	○												
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆	○												

【1-2】生産農業所得統計_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門の2020年の産出額は、穀物は20,479億円、青果は21,261億円、畜産は32,372億円。
- 品目別の算出額では米は16,431億円、大豆は405億円、キャベツは1,044億円、牛肉(肉用牛)は7,385億円となっている。

データ番号【1-2-1】

産出額に関する統計値

(単位: 億円)

項目	川上 産出額		部門・品目	
	2019年	2020年	部門	品目
農業総産出額	88,938.0	89,370.0		
穀物	21,170.0	20,479.0	穀物	
米	17,426.0	16,431.0		米
麦類	527.0	508.0		
雑穀	106.0	75.0		
豆類	758.0	690.0		
大豆 ※「主要農産物の産出額と構成割合」から取得	361.0	405.0		大豆
いも類	1,992.0	2,370.0		
青果	29,914.0	31,261.0	青果	
野菜	21,515.0	22,520.0		
果菜類	9,676.0	10,149.0		
菌茸藻類□	8,955.0	9,296.0		
キャベツ ※「主要農産物の産出額と構成割合」から取得	913.0	1,044.0		キャベツ
根菜類	2,885.0	3,074.0		
果実	8,399.0	8,741.0		
花き	3,264.0	3,080.0		
エ	1,699.0	1,553.0		
茶	522.0	409.0		
その他作物□	614.0	595.0		
畜産	32,107.0	32,372.0	畜産	
肉用牛	7,880.0	7,385.0		牛肉
乳用牛	9,193.0	9,247.0		
生乳	7,628.0	7,797.0		
豚	6,064.0	6,619.0		
鶏	8,231.0	8,334.0		
鶏卵	4,549.0	4,546.0		
ロイロ □	3,510.0	3,621.0		
その他畜産物	740.0	787.0		
加工農産物	530.0	436.0		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_統計概要

■ 総合農協、専門農協、農業協同組合連合会の事業部門別の取扱高の把握が可能な統計。

統計概要

統計名	農業協同組合及び同連合会一斉調査
統計分類(分類1・2・3)	確報_総合農協統計表_令和元事業年度総合農協統計表
統計内容	信用、共済、販売等の事業を総合的に行う農業協同組合の組織、財務及び事業に関する実態を明らかにし、農協指導をする際の基礎資料を整備することを目的とした統計。 ・ 本統計の調査対象は、全国の総合農協、専門農協、都道府県の区域を地区とする農業協同組合連合。 ・ 農林水産省経営局→都道府県→調査対象農協・連合会の流れで、農協・連合会の代表者に対し調査票を郵送により送付し、回収する自計申告の方法で調査し、調査結果を積み上げて集計している。
提供周期	年次
最新調査年月	2019年

調査データ

調査データ名称	・ 確報_総合農協統計表_第1部都道府県別統計表_事業 販売事業 ・ 確報_総合農協統計表_第1部都道府県別統計表_事業 加工事業・その他の事業・共同利用施設等所有状況・補助金・助成金等・部門別損益 ・ 確報_専門農協統計表_令和元年事業年度専門農協統計表_調査票集計状況・業種別集計表・規模別財務状況 ・ 確報_農業協同組合連合会統計表_令和元事業年度農業協同組合連合会統計表(都道府県区域連合会の部)_集計表(連合会別・都道府県別)・統計表(連合会別)
調査データ上の主な項目	・ 総合農協、専門農協、農業協同組合連合会の販売事業及び加工事業の取扱高、部門別損益・財務状況に関する数値 ※総合農協の統計データでは、取扱高の内訳として生産者からの買取取扱高や系統利用高が把握できる他、受託販売手数料も把握できる ※農業協同組合連合会の統計データでは、取扱高の内訳として経済連、畜産連、酪農連、その他連合の取扱高の把握可能 ※上記調査データ以外に、e-Stat内には信用事業、共済事業、購買事業のデータもある。
主な用語の定義	・ 本統計では金額数値に対して取扱高、販売・取扱高、売上高、利用高など複数の表記があるが、「用語の解説」等を確認しても、それぞれの違いに関する記載は無い。

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_データの項目・粒度

- 総合農協、専門農協、農業協同組合連合会それぞれの販売事業と加工事業の取扱高の把握が可能。
- 米、麦など品目で把握可能な項目と、野菜、果実等の部門で把握可能な項目が混在している。

「農業協同組合及び同連合会一斉調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 総合農協、専門農協、農業協同連合組合における販売事業と加工事業の部門別取扱高が記載されている。
- 部門別の項目の粒度は総合農協、専門農協、農業協同連合組合のそれぞれで異なり、各事業体の項目粒度は以下の通りである。

【総合農協 販売事業・加工事業の取扱高項目の粒度】

販売事業 取扱高項目						
耕種						
米	麦	雑穀・豆類	野菜	果実	花き・花木	
畜産						
生乳	肉用牛	肉豚	肉鶏	鶏卵		

加工事業 取扱高項目								
精米麦加工	澱粉及び芋加工	漬物	みそ・しょうゆ	青果物 びん・かん詰	畜肉加工	畜乳加工	製茶	

【専門農協 販売事業・加工事業の取扱高項目の粒度】

販売事業 取扱高項目									
耕種									
米	麦	加工用かんしょ・ばれいしょ	野菜	果実	茶	ホップ	種苗	花き・花木	
畜産									
生乳	乳牛	乳製品	鶏卵	ひな・種鶏	ブロイラー・成鶏	乳用牛	肉用牛	豚肉	家畜

加工事業 取扱高項目									
精米麦加工	澱粉及び芋加工	漬物	みそ・しょうゆ	青果物 びん・かん詰	畜肉加工	牛乳	乳製品	食鶏処理加工	製茶

【農業協同連合組合 販売事業・加工事業の取扱高項目の粒度】

販売事業 取扱高項目							
耕種							
米	麦	雑穀・豆類	野菜	果実	花き・花木		
畜産							
生乳・牛乳	乳用牛	肉用牛	肉豚	鶏卵	ブロイラー・成鶏	家畜	

加工事業 取扱高項目									
精米麦加工	澱粉及び芋加工	みそ・しょうゆ	青果物 びん・かん詰	畜肉加工	牛乳	乳製品	食鶏処理加工	製茶	

○

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については青果、穀物、畜産の3部門について販売事業と加工事業の取扱高の把握が可能。
- 品目については、米と牛肉の販売事業の取扱高の把握が可能。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果						○								
	キャベツ													
穀物						○								
	米					○								
畜産						○								
	牛肉					○								
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

①主要統計のデータ特性把握 1. 農林水産省統計の調査・統計

NOMURA

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門である穀物の農業協同組合の販売事業のトータルの取扱高は11,826億円、 青果は21,811億円、畜産は25,351億円。
- 品目では米の取扱高は9,851億円、牛肉は7,310億円となっている。

データ番号【1-3-1】

農協及び連合会の販売事業に関する統計値

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上 販売事業				部門・品目	
	合計	総合農協 取扱高	専門農協 販売・取扱高	農業協同組合連合会 取扱高	部門	品目
合計	68,723.9	45,251.3	4,337.0	19,135.6		
穀物	11,826.2	9,909.1	2.9	1,914.2	穀物	
米	9,851.6	8,545.4	2.3	1,303.9		米
麦	942.9	634.8	0.0	308.2		
雑穀・豆類	1,031.6	729.0	0.5	302.1		
青果	21,811.5	16,775.0	289.5	4,747.0	青果	
野菜	16,502.6	12,601.9	168.3	3,732.3		
果実	5,308.9	4,173.1	121.1	1,014.7		
畜産物	25,351.2	11,962.5	3,686.7	9,702.0	畜産	
生乳	12,206.8	4,974.8	1,651.1	5,581.0		
乳牛	1,006.2		707.7	298.5		
乳製品	52.3		52.3			
鶏卵	657.2	172.5	245.4	239.2		
ひな・種鶏	6.9		6.9			
ブロイラー成鶏	157.9		155.0	2.8		
乳用牛	47.5		47.5			
肉用牛	7,310.6	5,772.7	369.1	1,168.8		牛肉
肉豚	1,331.7	1,001.4	23.6	306.7		
肉鶏	41.0	41.0				
家畜(種・母牛豚・子牛豚)	1,462.3		273.8	1,188.5		
その他畜産物	1,070.8		154.3	916.5		
花き・花木	1,949.0	1,200.9	269.1	479.1		
その他	6,217.2	3,835.2	88.8	2,293.2		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門である農業協同組合の穀物の加工事業のトータルの取扱高は523億円、青果は101億円、畜産は891億円。
- 加工事業においては品目の取扱高を把握することはできない。

農協及び連合会の加工事業に関する統計値

データ番号【1-3-2】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上				部門・品目	
	加工事業					
	合計	総合農協 取扱高	専門農協 販売・取扱高	農業協同組合連合会 取扱高		
合 計	2,765.1	992.7	400.3	1,372.1		
穀物	523.0	117.2	0.6	405.2	穀物	
精米麦加工	514.0	108.8	0.0	405.2		
みそ・しょうゆ	9.0	8.5	0.6			
青果物	101.5	96.0	5.6	0.0	青果	
漬 物	63.9	58.6	5.3			
青果物びん・かん詰	37.6	37.4	0.3			
畜産	891.6	78.6	251.9	561.1	畜産	
畜 肉 加 工	446.7	45.7	28.5	372.5		
畜 乳 加 工	361.8	32.9	140.3	188.5		
牛乳	222.3		79.2	143.1		
乳製品	106.5		61.1	45.4		
食鶏処理加工	83.1		83.1			
澱粉及び芋加工	293.2	267.6		25.5		
製 茶	137.7	95.1	37.9	4.7		
そ の 他	818.0	338.1	104.3	375.5		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 総合農協の販売事業の詳細

データ番号【1-3-3】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上						部門・品目	
	総合農協 販売事業						部門	品目
	取扱高	うち 買取取扱高	うち 系統利用高	うち 商系利用高	販売手数料	うち受託販売手 数料		
合計	45,251.3	2,428.8	36,712.9	8,538.4	1,435.1	1,435.1		
穀物	9,909.1	1,479.5	7,044.9	2,864.2	464.1	464.1	穀物	
米	8,545.4	1,241.0	5,917.4	2,628.0	363.8	363.8		米
麦	634.8	1.1	588.3	46.5	49.0	49.0		
雑穀・豆類	729.0	237.4	539.2	189.8	51.4	51.4		
青果	16,775.0	285.5	14,526.4	2,248.6	483.1	483.1	青果	
野菜	12,601.9	232.5	10,792.9	1,809.0	355.6	355.6		
果実	4,173.1	53.0	3,733.4	439.6	127.5	127.5		
畜産物	11,962.5	0.0	10,808.9	1,153.5	150.2	150.2	畜産	
生乳	4,974.8		4,841.2	133.5	55.2	55.2		
乳牛								
乳製品								
鶏卵	172.5		113.4	59.1	2.5	2.5		
ひな・種鶏								
ブロイラー成鶏								
乳用牛								
肉用牛	5,772.7		4,933.8	838.9	81.0	81.0		牛肉
肉豚	1,001.4		912.6	88.9	11.2	11.2		
肉鶏	41.0		7.9	33.1	0.4	0.4		
家畜(種・母牛豚・子牛豚)								
その他畜産物								
花き・花木	1,200.9	6.2	946.1	254.8	34.3	34.3		
その他	3,835.2	481.2	1,981.9	1,853.4	278.8	278.8		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

①主要統計のデータ特性把握 1. 農林水産省統計の調査・統計

NOMURA

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 農業協同組合連合会の販売事業の詳細

データ番号【1-3-4】

(2019年数値 単位: 億円)

項目	川上 販売事業														
	農業協同組合連合会 合計			経済連			畜産連			酪農連			その他連合		
	当期販売・ 取扱高 (買取・受託)	うち系統 利用高	販売利益 (販売手数料 含む)	当期販売・ 取扱高 (買取・受託)	うち系統 利用高	販売利益 (販売手数料 含む)	当期販売・ 取扱高 (買取・受託)	うち系統 利用高	販売利益 (販売手数料 含む)	当期販売・ 取扱高 (買取・受託)	うち系統 利用高	販売利益 (販売手数料 含む)	当期販売・ 取扱高 (買取・受託)	うち系統 利用高	販売利益 (販売手数料 含む)
合計	19,135.6	5,212.6	326.9	17,706.5	4,154.3	307.0	483.2	197.1	11.9	889.5	861.3	7.0	56.3	0.0	1.0
穀物	1,914.2	914.3	41.1	1,914.2	914.3	41.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
米	1,303.9	797.2	19.0	1,303.9	797.2	19.0									
麦	308.2	16.3	6.0	308.2	16.3	6.0									
雑穀・豆類	302.1	100.8	16.1	302.1	100.8	16.1									
青果	4,747.0	1,170.0	59.5	4,690.8	1,170.0	58.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.1	0.0	0.0
野菜	3,732.3	921.6	49.5	3,732.3	921.6	49.5									
果実	1,014.7	248.4	10.0	958.5	248.4	9.1							56.1	0.0	0.0
畜産	9,702.0	2,895.2	126.9	8,329.2	1,836.9	108.0	483.2	197.1	11.9	889.5	861.3	7.0	0.0	0.0	0.0
生乳	5,581.0	1,849.7	45.8	4,720.4	991.5	39.4				860.6	858.2	6.5			
乳牛	298.5	33.7	2.8	282.1	32.3	2.4	1.2	1.2	0.0	15.2	0.2	0.4			
乳製品															
鶏卵	239.2	104.5	3.2	239.2	104.5	3.2									
ひな・種鶏															
ブロイラー・成鶏	2.8	0.1	0.0	2.8	0.1	0.0									
乳用牛															
肉用牛	1,168.8	484.0	11.5	894.3	302.8	6.0	261.1	178.7	5.3	13.4	2.5	0.2			
肉豚	306.7	141.1	2.0	306.4	141.1	2.0	0.3		0.0						
肉鶏															
家畜(種・母牛豚・子牛豚)	1,188.5	258.3	13.4	982.8	255.7	6.9	205.4	2.2	6.5	0.3	0.3	0.0			
その他畜産物	916.5	23.9	48.1	901.3	8.9	48.0	15.2	15.0	0.1						
花き・花木	479.1	2.0	4.8	479.1	2.0	4.8									
その他	2,293.2	230.8	94.4	2,293.0	230.8	94.3				0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	

部門・品目	
部門	品目
穀物	
	米
青果	
畜産	
	牛肉

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-3】農業協同組合及び同連合会一斉調査_対象部門・品目の統計値

(参考) 農業協同組合連合会の加工事業の詳細

データ番号【1-3-5】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上		
	加工事業		
	農業協同組合連合会 取扱高	うち 経済連	うち 酪農連
合計	1,372.1	1,172.0	200.2
穀物	405.2	405.2	0.0
精米麦加工	405.2	405.2	
みそ・しょうゆ			
青果	0.0	0.0	0.0
漬物			
青果物びん・かん詰			
畜産	561.1	360.9	200.2
畜肉加工	372.5	360.9	11.6
畜乳加工	188.5	0.0	188.5
牛乳	143.1		143.1
乳製品	45.4		45.4
食鶏処理加工			
澱粉・蒟加工	25.5	25.5	
製茶	4.7	4.7	
その他	375.5	375.5	

部門・品目	
部門	品目
穀物	
青果	
畜産	

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-4】農林水産物輸出入統計_統計概要

■ 農林水産物の輸出入の数量及び金額の把握が可能な統計。

統計概要

統計名	農林水産物輸出入統計
統計分類	農林水産物輸出入情報・概況
統計内容	本資料は、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物輸出入状況を取り纏めたもので、記載されている品目名は便宜的なものであり、詳細については「貿易統計」の品目定義を参照する必要がある。 - 貿易統計は、日本から輸出された貨物および日本へ輸入された貨物につて、税関に提出された各種申請書に基づいて作成されている。ただし、20万円以下の少額貨物、見本品、贈与品および寄贈品、旅客用品、興業用品、駐留軍・国連軍関係貨物、博覧会、展示会、見本市等へ出品された貨物、船舶用の積み込み、密輸出入品等は除かれている。 - 原則として、輸出は当該輸出品目を積載する船舶及び航空機の出航の日、輸入は当該輸入品目の輸入許可の日をもって計上している。
提供周期	年次
最新調査年月	2021年

調査データ

調査データ名称	- 年別実績_令和2年 - 年別実績_令和3年
調査データ上の主な項目	- 農林水産物(輸出金額上位20品目)の国・地域別輸出概況及び平均輸出価格 - 農林水産物(輸入金額上位20品目)の国・地域別輸入概況及び平均輸入価格 - 農林水産物の国・地域別輸出・輸入実績(金額上位20か国)
主な用語の定義	輸出金額はFOB価格(Free on board(本船渡し)、運賃・保険料を含まない価格)、輸入金額は原則としてCIF価格(Cost-insurance and freight(運賃保険料込み条件)、運賃・保険料込みの価格)。

【1-4】農林水産物輸出入統計_データの項目・粒度

- 財務省貿易統計の統計品目に基づく農林水産物の輸出入数量と価格の把握が可能。
- 数量と金額に関する対前年増減率を見ることで、品目別の輸出入増減も把握できる。

「農林水産物輸出入統計」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 財務省貿易統計の第1類～第97類までである統計品目表の内、農林水産物の輸出入として下表の類型に含まれる物品の輸出入数量及び金額等が記載されている。
- ただし、44類については含まれる物品の全てを対象とし、その他は各類型に含まれる物品の一部を対象として集計されている。

輸出入統計品目	
第1類	動物(生きているものに限る。)
第2類	肉及び食用のくず肉
第3類	魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物
第4類	酪農品、鳥卵、天然はちみつ及び他の類に該当しない食用の動物性生産品
第5類	動物性生産品(他の類に該当するものを除く。)
第6類	生きている樹木その他の植物及びりん茎、根その他これらに類する物品並びに切花及び装飾用の葉
第7類	食用の野菜、根及び塊茎
第8類	食用の果実及びナット、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮
第9類	コーヒー、茶、マテ及び香辛料
第10類	穀物
第11類	穀粉、加工穀物、麦芽、でん粉、イヌリン及び小麦グルテン
第12類	採油用の種及び果実、各種の種及び果実、工業用又は医薬用の植物並びにわら及び飼料用植物
第13類	ラック並びにガム、樹脂その他の植物性の液汁及びエキス
第14類	植物性の組物材料及び他の類に該当しない植物性生産品
第15類	動物性、植物性又は微生物性の油脂及びその分解生産物、調製食用脂並びに動物性又は植物性のろう
第16類	肉、魚、甲殻類、軟体動物若しくはその他の水棲無脊椎動物又は昆虫類の調製品
第17類	糖類及び砂糖菓子
第18類	ココア及びその調製品
第19類	穀物、穀粉、でん粉又はミルクの調製品及びベーカリー製品
第20類	野菜、果実、ナットその他植物の部分の調製品

輸出入統計品目	
第21類	各種の調製食料品
第22類	飲料、アルコール及び食酢
第23類	食品工業において生ずる残留物及びくず並びに調製飼料
第24類	たばこ及び製造たばこ代用品、非燃焼吸引用の物品(ニコチンを含有するかしないかを問わない。)並びにニコチンを含有するその他の物品(ニコチンを人体に摂取するためのものに限る。)
第29類	有機化学品
第32類	なめしエキス、染色エキス、タンニン及びその誘導体、染料、顔料その他の着色料、ペイント、ワニス、パテその他のマスチック並びにインキ
第33類	精油、レジノイド、調製香料及び化粧品類
第35類	たんばく系物質、変性でん粉、膠着剤及び酵素
第38類	各種の化学工業生産品
第40類	ゴム及びその製品
第41類	原皮(毛皮を除く。)及び革
第43類	毛皮及び人造毛皮並びにこれらの製品
第44類	木材及びその製品並びに木炭
第45類	コルク及びその製品
第46類	わら、エスパルトその他の組物材料の製品並びにかご細工物及び枝条細工物
第50類	絹及び絹織物
第51類	羊毛、織獣毛、粗獣毛及び馬毛の糸並びにこれらの織物
第52類	綿及び綿織物
第53類	その他の植物性紡織用繊維及びその織物並びに紙糸及びその織物
第71類	天然又は養殖の真珠、貴石、半貴石、貴金属及び貴金属を張つた金属並びにこれらの製品、身辺用模造細貨類並びに貨幣
第94類	家具、寝具、マットレス、マットレスサポート、クッションその他これらに類する詰物をした物品並びに照明器具(他の類に該当するものを除く。)及びイルミネーションサイン、発光ネームプレートその他これらに類する物品並びにプレハブ建築物

○

【1-4】農林水産物輸出入統計_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については青果、穀物、畜産、水産の4部門について輸出入金額の把握が可能。
- 品目については、キャベツ、米、牛肉、マグロ、大豆の輸出入金額が把握できる。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食物品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果				○	○									
	キャベツ			○	○									
穀物				○	○									
	米			○	○									
畜産				○	○									
	牛肉			○	○									
水産				○	○									
	マグロ			○	○									
豆腐														
	大豆			○	○									

【1-4】農林水産物輸出入統計_調査対象部門・品目の統計値

- 2021年で見した場合、調査対象部門である穀物の輸出額は69億円、青果は569億円、畜産は1,139億円、水産は3,015億円。
- 品目別では米の輸出額は69億円、キャベツは3億円、牛肉は536億円、マグロは149億円(加工含む)、大豆は1億円となっている。

データ番号【1-4-1】

農水産物の輸出額に関する統計値

(単位: 億円)

項目	川上 輸出額			部門・品目	
	2019年	2020年	2021年	部門	品目
農産物	5,877.5	6,551.8	8,040.9		
農産品	5,169.2	5,780.4	6,901.1		
穀物・穀粉調整品	461.8	510.2	558.6		
穀物	60.9	63.3	69.8	穀物	
米	60.6	62.9	69.5		米
その他	400.9	446.9	488.8		
青果(野菜・果実・その他調整品)	445.0	445.0	569.5	青果	
野菜・その他調整品	110.4	121.9	130.0		
キャベツ(芽キャベツ除く)等	1.6	3.6	3.3		キャベツ
乾燥豆(さやを除いたもの)	0.3	0.3	0.6		
果実・その他調整品	334.6	323.1	439.5		
その他	4,262.4	4,825.2	5,773.0		
米菓(あられ・せんべい)	43.1	45.3	56.4		
大豆油	1.0	0.7	1.0		大豆
大豆油粕	0.7	0.8	1.5		
畜産品	707.8	771.1	1,139.2	畜産	
動物(生きているもの)	31.2	13.7	26.0		
牛(生きているもの)					
食肉及びその調製品	338.5	344.4	591.8		
牛肉(くず肉含む)	296.7	288.7	536.8		牛肉
その他	338.1	413.0	521.3		
その他	0.5	0.3	0.6		
水産物	2,873.0	2,275.5	3,015.3	水産	
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	1,603.7	1,376.9	1,923.2		
かつお・まぐろ類(生・蔵・凍)	152.6	203.9	204.1		
まぐろ類(生・蔵・凍)	117.5	165.9	144.3		マグロ
その他	1,451.0	1,173.1	1,719.1		
水産物調製品	686.7	591.1	650.6		
水産缶びん詰	21.9	23.8	17.4		
まぐろ類(缶詰)	4.8	5.8	4.8		マグロ
その他	664.8	567.3	633.2		
その他	582.7	307.5	441.5		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-4】農林水産物輸出入統計_調査対象部門・品目の統計値

- 2021年で見した場合、調査対象部門である穀物の輸入額は8,262億円、青果は10,342億円、畜産は19,613億円。
- 品目別では米の輸入額は570億円、キャベツは6億円、牛肉は4,078億円、マグロは1,992億円(加工含む)、大豆は2,277億円となっている。

データ番号【1-4-2】

農水産物の輸入額に関する統計値

(単位: 億円)

項目	川上 輸入額		
	2019年	2020年	2021年
農産物	65,945.6	62,129.2	70,388.4
農産品	46,392.0	43,986.7	50,756.5
穀物・穀粉調整品	7,591.0	7,281.2	9,417.0
穀物	6,513.8	6,161.0	8,262.4
米	533.8	537.5	570.9
その他	1,077.2	1,120.2	1,154.6
青果(野菜・果実・その他調整品)	10,366.3	9,848.1	10,342.7
野菜・その他調整品	5,012.8	4,515.6	4,808.7
キャベツ(芽キャベツ除く)等	12.4	13.3	6.3
その他の豆	1.3	1.1	0.9
果実・その他調整品	5,353.5	5,332.5	5,534.0
その他	28,434.7	26,857.4	30,996.8
米菓(あられ・せんべい)	33.3	34.1	36.2
大豆	1,673.2	1,591.6	2,277.0
大豆油粕	758.1	853.3	1,030.8
畜産品	19,531.4	18,130.8	19,613.0
動物(生きているもの)	284.7	264.7	336.5
牛(生きているもの)	45.7	35.5	38.6
食肉及びその調製品	15,391.6	14,309.5	15,567.2
牛肉(くず肉含む)	3,851.2	3,573.7	4,078.6
その他	3,855.1	3,556.6	3,709.3
その他	22.2	11.8	18.9
水産物	17,403.9	14,648.5	16,099.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	11,697.2	10,048.2	11,335.9
かつお・まぐろ類(生・蔵・凍)	1,909.1	1,597.5	1,861.5
まぐろ類(生・蔵・凍)	1,853.4	1,554.8	1,823.9
その他	9,788.2	8,450.7	9,474.4
水産物調製品	3,532.9	3,077.4	3,242.0
水産缶びん詰	487.3	420.2	403.8
まぐろ類(缶詰)	178.4	172.2	168.3
その他	3,045.5	2,657.2	2,838.3
その他	2,173.8	1,522.9	1,521.3

部門・品目	
部門	品目
穀物	
	米
青果	
	キャベツ
	大豆
畜産	
	牛肉
水産	
	マグロ
	マグロ

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_統計概要

■ 農業経営体と漁業経営体の6次産業化及び農産物・水産物の直接販売の実態を把握できる統計。

統計概要

統計名	6次産業化総合調査
統計分類(分類1・2)	確報_令和元年度6次産業化総合調査報告
統計内容	本調査は、農業者、漁業者等による農水産物の生産関連事業による所得の増大をもたらす取組を総合的に調査し、これらの取組に伴う所得向上、雇用確保の状況等を明らかにし、6次産業化の施策推進に必要な資料を整備することを目的としており、統計法第19条第1項に基づく総務大臣の承認を受けて実施した一般統計調査である。 ・ 本調査は、農林水産省が契約した民間事業者を通じて実施。 ・ 農産加工等及び水産加工等とともに業態別の区分ごとに標本調査(層別無作為抽出法)を実施。(農産加工等の調査対象者数9,253事業体、有効回収数5,944(63.6%)、水産加工等の調査対象者数2,010、有効回収数1,591(79.2%)) ・ その上で、農業生産関連事業又は漁業生産関連事業に関わる年間販売(売上)金額を推計により算出。
提供周期	年次
最新調査年月	2019年(2019年度)

調査データ

調査データ名称	・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産加工(農業経営体・農業協同組合等_年間販売金額及び年間販売金額規模別事業体数割合) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産加工(農業経営体・農業協同組合等_販売先別年間販売金額) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産加工(農業経営体・農業協同組合等_主な加工品目別年間販売金額) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産加工(農業経営体・農業協同組合等_加工原料の年間仕入金額及び年間仕入金額規模別事業体数割合) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産加工(農業経営体・農業協同組合等_加工原料の品目別年間仕入金額) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産物直売所(農業経営体・農業協同組合等_年間販売金額及び年間販売金額規模別事業体数割合) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産物直売所(農業経営体・農業協同組合等_品目別年間販売金額) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産物直売所(農業経営体・農業協同組合等_出荷者からの料金徴収状況別事業体数割合及び品目別平均手数料率) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産物直売所(農業経営体・農業協同組合等_観光農園(農業経営体)_年間売上金額及び年間売上金額規模別農業経営体数割合) ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産物直売所(農業経営体・農業協同組合等_農家民宿(農業経営体)_年間売上金額及び年間売上金額規模別農業経営体数割合)
---------	--

【1-5】6次産業化総合調査_統計概要

調査データ（続き）

調査データ名称	・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_農産物直売所（農業経営体・農業協同組合等）_農家レストラン（農業経営体・農業協同組合等）_年間売上金額及び年間売上金額規模別事業体数割合 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産加工（漁業経営体・漁業協同組合等）_年間販売金額及び年間販売金額規模別事業体数割合 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産加工（漁業経営体・漁業協同組合等）_販売先別年間販売金額 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産加工（漁業経営体・漁業協同組合等）_主な加工品目別年間販売金額 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産加工（漁業経営体・漁業協同組合等）_加工原料の年間仕入金額及び年間仕入金額規模別事業体数割合 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産加工（漁業経営体・漁業協同組合等）_加工原料の品目別年間仕入金額 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産物直売所（漁業経営体・漁業協同組合等）_年間販売金額及び年間販売金額規模別事業体数割合 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産物直売所（漁業経営体・漁業協同組合等）_販売先別年間販売金額 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_水産物直売所（漁業経営体・漁業協同組合等）_品目別年間販売金額 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_漁家民宿（漁業経営体）_年間売上金額及び年間売上金額規模別漁業経営体数割合 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_漁家レストラン（漁業経営体・漁業協同組合等）_年間売上金額及び年間売上金額規模別事業体数割合 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_直接販売における販売先別年間販売金額_農業経営体による農産物の直接販売における販売先別年間販売金額 ・ 確報_令和元年度6次産業化総合調査報告_直接販売における販売先別年間販売金額_漁業経営体による水産物の直接販売における販売先別年間販売金額
調査データ上の主な項目	・ 農業経営体（農業協同組合等含む、以下同じ）及び漁業経営体（漁業協同組合等含む、以下同じ）の事業別6次産業化の年間販売金額（統計データによっては品目別の販売金や仕入金額の他、農業経営体及び漁業経営体の農産物・水産物の直接販売金額が把握できる統計もある）
主な用語の定義	年間販売（売上）金額 ・ 1年間（4月1日～翌年3月31日）の事業による販売（売上）金額。 農業経営体 ・ 農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が一定以上の事業を行う者。（露地野菜栽培面積15a以上、果樹栽培面積10a以上、肥育牛飼養頭数1頭以上等） 漁業経営体 ・ 利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を営む者。 農業協同組合等 ・ 農業協同組合が50%以上出資する子会社の他、都道府県、市区町村、第3セクター及び農業協同組合の下部組織及び民間企業を含む。（漁業協同組合等の定義も同内容）

【1-5】6次産業化総合調査_データの項目・粒度

- 農業経営体と漁業経営体の加工、直売所、観光農園、民宿、レストランの6産業化の実態把握が可能。
- 上記の内、農産・水産加工、農産物・水産物直売所の販売については、ある程度の品目の把握も可能。

「6次産業化総合調査」データの項目・粒度	データ領域		
	川上	川中	川下
■ 6次産業化の事業・各項目の粒度 ● 農業経営体(農業協同組合含む、以下同じ)の場合は農産加工、農産物直売所、観光農園、農家民宿、農家レストランの5つ、漁業経営体(漁業協同組合含む、以下同じ)の場合は水産加工、水産物直売所、漁家民宿、漁家レストランの4つの事業区分に分けて年間販売額等が記載されている。 ● 「加工」事業の販売額における販売先別、品目別の粒度 ・ 販売先の粒度は、農業経営体及び漁業経営体ともに消費者(直売所、インターネット)、小売業、食料品製造業、外食産業、卸売業、ホテル・旅館等の宿泊施設、学校給食、病院・福祉施設に分けて年間販売額等が記載されている。 ・ 品目別の粒度は、農業経営体の場合、農産食品(でん粉・砂糖類、カット野菜)、農産加工食品(野菜加工、果実加工、穀類加工など)、畜産加工品(肉製品、酪農製品)、その他の食品等に分けて年間販売額等が記載されている。漁業経営体の場合は、ねり製品、冷凍食品、素干品、塩干品、煮干品、塩蔵品、焼・味付のり、調味加工品、缶・びん詰、生鮮冷凍水産物に分けて年間販売金額等が記載されている。 ● 「直売所」事業の販売額における品目別の粒度 ・ 品目別の粒度は、農業経営体の場合、農産品とその他に分かれており、農産品については更に野菜類、果実類、きのこ類・山菜、畜産物、その他農産物に分けて年間販売額等が記載されている。 ・ 漁業経営体の場合は、水産動植物とその他に分かれており、水産動植物については更に魚類、貝類・他水産動物、海藻類に分けて年間販売額等が記載されている。 ■ 農業経営体・漁業経営体の直接販売における販売先の粒度 ● 農業経営体及び漁業経営体ともに販売先の粒度は、卸売市場、小売業、食品製造業、外食産業、消費者の5つに分けて年間販売金額等が記載されている。	○		

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については青果、穀物、畜産、水産の4部門について農業経営体と漁業経営体の6次産業化の販売額の把握が可能。
- 品目については、米についてのみ農産物直売所での販売金額を把握できる。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果			○											
	キャベツ													
穀物			○											
	米		○											
畜産			○											
	牛肉													
水産			○											
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

- 農業経営体の農産加工の販売額は3,669億円、農産物直売所は1,754億円、観光農園は359億円、農家民宿は54億円、農家レストランは271億円。
- 調査対象部門で見た場合は、青果、穀物、畜産の3部門の把握が可能で、その販売額は農産加工と農産物直売所のトータルで青果は1,470億円、穀物は83億円、畜産は1,050億円となっている。
- 品目別では農産物直売所において米の販売額が82億円となっている。

農業経営体の6次産業化に関する統計値

項目	川上		
	合計	農業経営体 販売額	農業協同組合等 販売額
計			
農産加工の年間販売金額	20,772.6	6,108.3	14,664.2
農産食品	9,468.4	3,669.4	5,799.0
でん粉・砂糖類	670.8	199.4	471.4
カット野菜	373.8	0.4	373.4
農産加工食品	297.0	198.9	98.1
野菜加工品	3,340.5	1,534.8	1,805.7
果実加工品	980.2	308.3	671.9
茶・コーヒー	1,130.2	426.0	704.2
めん・パン類	565.0	466.5	98.5
穀類加工品	63.5	49.1	14.4
菓子類	122.3	83.5	38.7
豆類の調製品	365.3	190.4	174.9
畜産加工食品	114.1	10.9	103.1
肉製品	2,672.7	731.3	1,941.4
酪農製品	773.3	520.9	252.4
その他の食品	1,899.4	210.4	1,689.0
調味料及び加工品	1,035.5	286.8	748.7
調理食品	116.4	61.4	54.9
アルコールを含む飲料	919.1	225.4	693.8
その他	195.8	189.1	6.7
農産物直売所の年間販売金額	1,553.2	728.0	825.2
生鮮食品	10,533.7	1,754.1	8,779.5
米	6,863.1	1,191.4	5,671.7
野菜類	625.7	82.8	542.9
果実類	3,098.8	230.6	2,868.2
きのこ類・山菜	1,815.4	505.9	1,309.6
畜産物	294.6	27.6	267.0
その他の生鮮食品	713.8	318.7	395.2
農産加工品	314.8	25.9	288.8
花き・花木	1,563.7	369.8	1,193.9
その他	792.4	56.6	735.8
観光農園の年間販売金額	1,314.4	136.3	1,178.2
農家民宿の年間販売金額	359.4	359.4	
農家レストランの年間販売金額	54.1	54.1	
	357.0	271.3	85.7

部門・品目	
部門	品目
青果	
青果	
穀物	
畜産	
	米
青果	
青果	
畜産	

Copyright © Nomura Agri Planning & Advisory Co., Ltd. All rights reserved

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

- 農業経営体の農産加工における加工原料の仕入額の合計は1,627億円。
- 仕入額を調査対象部門別に見た場合、青果と畜産の2部門の把握が可能で、青果の仕入額は453億円、畜産は601億円となっている。
- 品目では米のみ把握が可能で、米の農産加工の加工原料仕入額は82億円となっている。

データ番号【1-5-2】 農業経営体の農産加工の加工原料仕入額に関する統計値

(2019年数値 単位: 億円)

項目	川上			部門・品目	
	合計	農業経営体 加工原料仕入額	農業協同組合等 加工原料仕入額	部門	品目
計	4,470.8	1,627.4	2,843.3		
農産物	3,993.3	1,523.6	2,469.7		
米	216.1	82.7	133.4		米
野菜類	614.5	258.2	356.2	青果	
果実類	423.1	194.9	228.2	青果	
きのこ類・山菜	21.2	18.2	3.0		
畜産物	1,901.2	601.5	1,299.7	畜産	
その他の農産物	817.2	368.0	449.2		
その他加工品、畜産物等)	477.4	103.8	373.6		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 農業経営体の農産加工における販売先別販売額に関する統計値

データ番号【1-5-3】

(2019年数値 単位: 億円)

項目	川上			部門・品目	
	合計	農業経営体 販売額	農業協同組合等 販売額	部門	品目
計	9,468.4	3,669.4	5,799.0		
消費者への直接販売	1,623.2	1,176.1	447.1		
直売所	892.4	708.4	184.0		
インターネット	175.2	147.7	27.5		
小売業	2,748.9	939.1	1,809.8		
食品製造業	1,159.5	239.4	920.1		
外食産業	220.0	103.4	116.6		
卸売業	2,537.9	1,055.0	1,483.0		
ホテル、旅館等の宿泊施設	32.0	20.4	11.6		
学校給食	218.2	11.9	206.3		
病院、福祉施設	58.6	11.6	47.1		
その他	870.1	112.6	757.5		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 農業経営体の農産物の販売先別の直接販売額に関する統計値

データ番号【1-5-4】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上	部門・品目	
	農業経営体 農産物の年間 直接販売金額	部門	品目
計	29,849.7		
卸売市場	10,437.5		
小売業	8,315.8		
食品製造業	5,593.3		
外食産業	873.2		
消費者に直接販売	4,629.9		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

- 漁業経営体の水産加工の販売額は747億円、水産物直売所は104億円、漁家民宿は66億円、漁家レストランは84億円。
- 調査対象部門で見た場合は水産は上記の合計で1,002億円と把握できるが、品目の把握はできない。

データ番号【1-5-5】

(2019年数值 単位:億円)

項目	川上		
	合計	漁業経営体 販売額	漁業協同組合等 販売額
計	2,301.0	1,002.5	1,298.6
水産加工の年間販売金額	1,751.3	747.1	1,004.2
ねり製品	11.6	9.3	2.3
冷凍食品	138.6	82.0	56.5
素干品	53.0	21.7	31.3
塩干品	21.5	7.0	14.6
煮干品	186.0	153.7	32.3
塩蔵品	30.1	15.1	15.0
焼・味付〆り	65.6	7.2	58.5
調味加工品	40.7	3.0	37.7
かん・〆ん詰	3.0	2.8	0.1
生鮮冷凍函産物	280.9	74.4	206.5
その他	920.3	371.0	549.3
水産物直売所の年間販売金額	364.9	104.7	260.2
水産動植物	217.0	78.7	138.3
魚類	90.0	29.8	60.2
貝類・他水産動物	101.3	43.5	57.7
海藻類	25.8	5.4	20.4
水産加工品	108.3	18.8	89.5
その他【真珠、農産物等】	39.6	7.2	32.4
魚家民宿の年間販売金額	66.6	66.6	
魚家レストランの年間販売金額	118.2	84.1	34.2

[illegible]

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 漁業経営体の水産加工における販売先別販売額に関する統計値

データ番号【1-5-6】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上			部門・品目	
	合計	漁業経営体 販売額	漁業協同組合等 販売額	部門	品目
計	1,751.3	747.1	1,004.2		
消費者への直接販売	152.3	73.6	78.7		
直売所	62.8	34.5	28.3		
インターネット	16.3	10.2	6.1		
小売業	412.2	208.4	203.8		
食品製造業	53.7	18.2	35.4		
外食産業	69.0	40.9	28.0		
卸売業	771.5	347.4	424.1		
ホテル、旅館等の宿泊施設	6.1	2.4	3.7		
学校給食	10.3	1.3	9.0		
病院、福祉施設	0.5	0.1	0.4		
その他	275.9	54.8	221.1		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 漁業経営体の水産加工の加工原料仕入額に関する統計値

データ番号【1-5-7】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上			部門・品目	
	合計	漁業経営体 加工原料仕入額	漁業協同組合等 加工原料仕入額	部門	品目
計	1,153.9	444.9	709.0		
水産動植物	1,107.2	426.1	681.2		
魚類	699.4	301.8	397.6		
貝類・他水産動物	331.2	113.6	217.6		
海藻類	76.7	10.7	66.0		
その他(農産物、調味料等)	46.7	18.8	27.8		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 漁業経営体の水産物直売所における販売先別販売額に関する統計値

データ番号【1-5-8】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上			部門・品目	
	合計	漁業経営体 販売額	漁業協同組合等 販売額	部門	品目
計	364.9	104.7	260.2		
消費者への直接販売	234.0	68.6	165.4		
小売業	45.4	19.3	26.2		
食品製造業	21.8	3.8	17.9		
外食産業	28.9	8.0	21.0		
ホテル、旅館等の宿泊施設	7.0	2.0	5.0		
学校給食	1.3	0.1	1.2		
病院、福祉施設	0.9	0.2	0.7		
その他	25.7	2.8	22.9		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-5】6次産業化総合調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 漁業経営体の水産物の販売先別の直接販売額に関する統計値

データ番号【1-5-9】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川上	部門・品目	
	漁業経営体 農産物の年間 直接販売金額	部門	品目
計	3,236.3		
消費地卸売市場	1,694.3		
小売業	555.0		
食品製造業	479.2		
外食産業	118.3		
消費者に直接販売	389.5		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【1-6】食肉卸売市場調査_統計概要

■ 食肉卸売市場の取引総金額の把握が可能な統計。

統計概要

統計名	食肉卸売市場調査
統計分類	枝肉の取引総価額
統計内容	本資料は、食肉中央卸売市場(10市場)及び主要市場(15市場)に所在する卸売会社(25社)を対象とし、規格別枝肉取引成立頭数、規格別枝肉取引総重量及び規格別枝肉総取引価額を調査したものである。なお、本調査は全国の食肉中央卸売市場及び主要市場に所在する全ての卸売会社を対象とする調査のため、目標精度は設定していない。
提供周期	年次
最新調査年月	2020年

調査データ

調査データ名称	・ 月別取引成立頭数・価格(食肉卸売市場別)_成牛計
調査データ上の主な項目	・ 枝肉の取引総価額
主な用語の定義	中央卸売市場 ・卸売市場法の規定により開設されている仙台、さいたま、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島及び福岡の10市場である。 主要市場 ・卸売市場法の規定により開設されている地方卸売市場のうち、畜産経営の安定に関する法律(昭和36年法律第183号)第3条第1項の標準的販売価格の算出に用いられる市場をいい、茨城、宇都宮、群馬、川口、山梨、岐阜、浜松、東三河、四日市、姫路、加古川、西宮、岡山、坂出及び佐世保の15市場である。 枝肉 ・と畜場において肉畜を食用に供する目的でと畜し、放血して、はく皮又ははく毛し、内臓を摘出した骨付きの肉のことをいう。

【1-6】食肉卸売市場調査_データの項目・粒度

- 各食肉卸売市場のデータを整理するものであり、統計法上の統計調査には該当しない。
- 枝肉の取引総価額を生産量と比較することで、市場経由率を把握することもできる。

「食肉卸売市場調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 食肉中央卸売市場(10市場)及び主要市場(15市場)に所在する卸売会社が取引した、枝肉の取引総価額を把握することができる。
- 枝肉の取引総価額以外には、取引成立頭数と卸売価格の情報が把握できる。取引成立頭数は、上場された頭数のうち、卸売業者と売買参加者との間に取引が成立した頭数を示し、卸売価格は、荷受会社が仲卸業者又は売買参加者に売渡した枝肉の総価額を総重量で除して算出した価格である。
- 年次データは、日別または月別のデータを積み上げてまとめたものである。
- 中央卸売市場と需要市場、および品目については以下である。

中央市場	主要市場
仙台	茨城
さいたま	宇都宮
東京	群馬
横浜	川口
名古屋	山梨
京都	岐阜
大阪	浜松
神戸	東三河
広島	四日市
福岡	姫路
	加古川
	西宮
	岡山
	坂出
	佐世保

品目
豚
成牛計
和牛計
和牛めす
和牛去勢
和牛おす
乳牛計
乳牛めす
乳牛去勢
乳牛おす
交雑牛計
交雑牛めす
交雑牛去勢
交雑牛おす
その他の牛計
その他の牛めす
その他の牛去勢
その他の牛おす

○

【1-6】食肉卸売市場調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については、畜産部門について取扱金額の把握が可能。
- 品目については、牛肉(成牛計)の取扱金額が把握できる。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産							○							
	牛肉						○							
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【1-6】食肉卸売市場調査_調査対象部門・品目の統計値

■ 調査対象部門である畜産物の枝肉の取引総価額は3,800億円、そのうち品目としての成牛は3,038億円。

データ番号【1-6-1】

枝肉の取引総価額

(単位:億円)

項目		川中
		枝肉の取引総価額 2019年
畜産物	豚	3,799.6
	成牛計	761.6
	和牛計	3,038.1
	和牛めす	2,076.5
	和牛去勢	825.0
	和牛おす	1,251.2
	乳牛計	0.3
	乳牛めす	139.8
	乳牛去勢	64.8
	乳牛おす	74.8
	交雑牛計	0.2
	交雑牛めす	817.8
	交雑牛去勢	420.1
	交雑牛おす	397.6
	その他の牛計	0.1
	その他の牛めす	4.0
	その他の牛去勢	0.2
	その他の牛おす	3.8
		0.0

部門・品目	
部門	品目
畜産	
	牛肉

【2-1】畜産物の需給関係の諸統計_統計概要

■ 畜産物の輸出額を把握できる統計。

統計概要

統計名	畜産物の需給関係の諸統計データ
統計分類	日本からの畜産物輸出
統計内容	本資料は、財務省が公表している「貿易統計」から、日本の畜産物輸出状況を取り纏めたもので、記載されている品目名は便宜的なものであり、詳細については「貿易統計」の品目定義を参照する必要がある。
提供周期	年次
最新調査年月	2021年

調査データ

調査データ名称	・日本からの畜産物輸出_年度データ_冷蔵牛肉輸出額と主要相手国
	・日本からの畜産物輸出_年度データ_冷凍牛肉輸出額と主要相手国
調査データ上の主な項目	・各輸出金額の合計
主な用語の定義	本統計では金額数値に対して合計の表記があるのみで、「用語の解説」等に関する記載は無い。

【2-1】畜産物の需給関係の諸統計_データの項目・粒度

- 畜産物の種類ごとの輸出額を、主要相手国の情報と共に、年次合計額を把握することが可能。

「畜産物の需給関係の諸統計」データの項目・粒度	データ領域															
	川上	川中	川下													
■日本の畜産物の輸出について、過去5年間の輸出金額と前年比が日記載されている。また、取引主要相手国の情報を把握できる。 ■元となっているのは財務省の貿易統計であり、該当する統計番号は 冷蔵牛肉(0201.30-100、0201.30-200、0201.30-300、0201.30-900の合計) 冷凍牛肉(0202.30-100、0202.30-200、0202.30-300、0202.30-900の合計) 豚肉(0203.12-000、0203.19-000、0203.21-000、0203.22-000、0203.29-000の合計) 豚肉調製品:もも(1602.41-000)、肩(1602.42-000)、その他(1602.49-000) 鶏肉(0207.14-010、0207.14-090の合計) 鶏卵(0407.21-000、0407.29-000、0407.90-000の合計) 牛乳等(0401.20-000) 育児用粉乳(1901.10-000) ヨーグルト(2021年12月まで:0403.10-000 2022年1月以降:0403.20-000) バター(0405.10-000) チーズ(0406.10-000、0406.20-000、0406.30-000、0406.40-000、0406.90-000) アイスクリーム(2105.00-000) ■畜産物の記載品目は以下の通り。 <table><tr><th>畜産物の種類</th></tr><tr><td>冷蔵牛肉</td></tr><tr><td>冷凍牛肉</td></tr><tr><td>豚肉</td></tr><tr><td>豚肉調製品</td></tr><tr><td>鶏肉</td></tr><tr><td>鶏卵</td></tr><tr><td>牛乳</td></tr><tr><td>育児用粉乳</td></tr><tr><td>ヨーグルト</td></tr><tr><td>バター</td></tr><tr><td>チーズ</td></tr><tr><td>アイスクリーム</td></tr></table>	畜産物の種類	冷蔵牛肉	冷凍牛肉	豚肉	豚肉調製品	鶏肉	鶏卵	牛乳	育児用粉乳	ヨーグルト	バター	チーズ	アイスクリーム	○		
畜産物の種類																
冷蔵牛肉																
冷凍牛肉																
豚肉																
豚肉調製品																
鶏肉																
鶏卵																
牛乳																
育児用粉乳																
ヨーグルト																
バター																
チーズ																
アイスクリーム																

【2-1】畜産物の需給関係の諸統計_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については、畜産部門について輸出金額の把握が可能。
- 品目については、牛肉の輸出金額の把握が可能。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産						○								
	牛肉					○								
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【2-1】畜産物の需給関係の諸統計_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門である畜産の輸出額は525億円となっている。
- 品目では牛肉の輸出額は281億円となっている。

データ番号【2-1-1】

日本からの畜産物輸出

(単位:億円)

項目		川上		部門・品目	
		輸出額		部門	品目
		2019年	2020年	畜産	
畜産物		524.8	651.6		
	冷蔵牛肉	139.3	161.4		牛肉
	冷凍牛肉	141.9	173.5		牛肉
	豚肉	10.0	18.3		
	豚肉調製品	3.3	6.2		
	鶏肉	18.6	18.2		
	鶏卵	25.5	48.9		
	牛乳	14.5	18.1		
	育児用粉乳	119.8	139.6		
	ヨーグルト	1.2	1.5		
	バター	0.1	0.3		
	チーズ	11.0	17.1		
	アイスクリーム	39.7	48.5		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【3-1】漁業産出額_統計概要

■ 漁業の産出額を把握できる統計。

統計概要

統計名	漁業産出額
統計分類	主要魚種別海面漁業・養殖業産出額
統計内容	本資料は、漁業生産活動の実態を金額で評価することにより明らかにし、水産行政の企画やその実行のフォローアップに資するための資料を整備することを目的として作成されたものである。漁業産出額では、海面漁業、海面養殖業、内水面漁業及び内水面養殖業の産出額並びに生産漁業所得を推計するとともに、参考値として種苗（海面養殖業及び内水面養殖業）の生産額を推計している。
提供周期	年次
最新調査年月	2021年

調査データ

調査データ名称	・海面漁業生産統計調査_全国統計 漁業種類別・魚種別漁獲量、大海区都道府県振興局別統計 魚種別漁獲量、種苗養殖販売量、都道府県別・養殖魚種別収獲量(種苗養殖を除く。)
調査データ上の主な項目	・漁業産出額_主要魚種別海面漁業計 ・漁業産出額_主要魚種別海面養殖業計
主な用語の定義	海面漁業・養殖業産出額 ・海面漁業生産統計調査結果から得られる都道府県別の魚種別生産量に、産地水産物流調査、主要産地の市場、関係団体等から得られる魚種別産地卸売価格を乗じて推計したものである。 内水面漁業産出額 ・内水面漁業生産統計調査から得られる全国の魚種別漁獲量に主要産地の市場、関係団体等から得られる全国の魚種別平均価格を乗じて推計している。 内水面養殖業産出額 ・内水面養殖業産出額の総計では、内水面漁業生産統計調査で把握しているます類、あゆ、こい、うなぎ及び真珠(以下「主要養殖魚種」という。)を推計し、その増減の傾向から主要養殖魚種以外の魚種を推計する方法で推計している。

【3-1】漁業産出額_データの項目・粒度

■ 漁業の産出額を、主要魚種別で把握することが可能。

「漁業産出額」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

■全国統計表においては、漁業及び養殖業の水産物に関し品目別で数値を確認することができ、年次データは過去10年分を比較することが可能となっている。

■海面漁業と海面養殖業の記載品目は以下の通り。

海面漁業の水産物

まぐろ類	たい類
かじき類	いさき
かつお類	さわら類
さめ類	すずき類
さけ・ます類	いかなご
このしろ	あまだい 類
にしん	ふぐ類
いわし類	その他の魚類
あじ類	えび類
さば類	かに類
さんま	おきあみ類
ぶり類	貝類
ひらめ・かれい類	いか類
たら類	たこ類
ほっけ	なまこ類
きちじ	うに類
はたはた	海産ほ乳類
にぎす類	その他の水産動物 類
あなご類	海藻類
たちうお	捕鯨業（くじら類）

海面養殖業の水産物

ぎんざけ
ぶり類
まあじ
しまあじ
まだい
ひらめ
ふぐ類
くろまぐろ
その他の魚類
貝類
くるまえび
ほや類
その他の水産 動物類
海藻類
真珠

○

【3-1】漁業産出額_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については、水産部門について漁業算出額の把握が可能。
- 品目については、マグロの産出額の把握が可能。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産		○												
	マグロ	○												
豆腐														
	大豆													

- 調査対象部門である水産の漁業産出額は14,684億円となっている。
- 品目では、マグロの海面漁業産出額は1,293億円となっている。

海面漁業産出額

(単位:億円)

項目		川上	
		漁業算出額	
		2019年	
漁業産出額		14,683.6	
	海面漁業計	8,691.2	
	魚類	5,999.4	
	まぐろ類	1,292.5	
	くろまぐろ	236.5	
	みなみまぐろ	107.5	
	びんなが	136.6	
	めばち	362.2	
	きはだ	446.1	
	その他	3.7	
	かじき類	83.8	
	まかじき	11.5	
	めかじき	58.9	
	くろかじき類	10.0	
	その他	3.4	
	かつお類	519.9	
	かつお	508.2	
	そうだかつお類	11.7	
	さめ類	33.9	
	さけ・ます類	353.8	
	さけ類	336.4	
	ます類	17.4	
	このしろ	5.2	
	にしん	11.4	
いわし類	710.7		
まいわし	271.2		
うるめいわし	49.9		
かたくちいわし	122.5		
しらす	267.1		

部門・品目	
部門	品目
水産	
	マグロ

Copyright © Nomura Agri Planning & Advisory Co., Ltd. All rights reserved

■ 品目では、マグロの海面養殖業産出額は506億円となっている。

海面養殖業産出額

(単位: 億円)

項目		川上
		漁業算出額
		2019年
漁業産出額		14,683.6
	海面養殖業	4,802.0
	魚類	2,675.1
	ぎんざけ	106.9
	ぶり類	1,287.8
	まあじ	9.1
	しまあじ	67.9
	まだい	536.0
	ひらめ	30.6
	ふぐ類	89.8
	くろまぐろ	506.0
	その他の魚類	41.2

部門・品目	
部門	品目
水産	
	マグロ

Copyright © Nomura Agri Planning & Advisory Co., Ltd. All rights reserved

【3-2】産地水産物流通調査_統計概要

■ 産地卸売市場に流通した取引量の、水揚価額を把握できる統計。

統計概要

統計名	産地水産物流通調査
統計分類	品目別上場水揚量・上場水揚価額・卸売価格
統計内容	本資料は、全国の水産物の主要産地における水揚量・水揚価額を調査し、産地における水産物の価格動向等を明らかにして、水産物の需給計画、価格安定対策、流通施設の改善等を推進するための資料とすることを目的している。2008年漁業センサス（平成20年実施）で設定された全国2,195漁業地区から、主要な漁業地区を選定し、調査区を設定している。 なお、水揚量・価格調査（年間調査）については、調査区の水揚量の合計が原則として全国の海面漁業生産量の概ね6割を占めるまでの209調査区を選定し、調査区内の全ての卸売業者及び漁業協同組合を調査対象としている。
提供周期	年次
最新調査年月	2021年

調査データ

調査データ名称	・産地水産物流通調査_産地上場水揚量・卸売価格（209漁港）
調査データ上の主な項目	・上場水揚量 ・上場水揚価額 ・卸売価格
主な用語の定義	上場水揚量 ・調査区内の卸売市場において、せり、入札、相対等によって取引された数量をいう。 上場水揚価額 ・調査区内の卸売市場における取扱金額である。 卸売価格 ・上場水揚価額を上場水揚量で除して算出した1kg当たりの平均価格である。

【3-2】産地水産物流通調査_データの項目・粒度

■ 上場水揚価額を、主要魚種別で把握することが可能。

「上場水揚価額」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 産地流通市場における上場水揚量・上場水揚価額・卸売価格を、品目別で把握することができる。
- 品目別については、さらに生鮮品、冷凍品、塩蔵品、干製品に区別しており、詳細な卸売価格情報が取得できる。但し、消費地卸売市場の情報との粒度の一致が確認できていない。
- 産地水産物流通調査の記載品目は以下の通り。

品目		
まぐろ（生）	たら（生）	するめいか（生）
まぐろ（冷）	たら（冷）	するめいか（冷） 近海
びんなが（生）	すけとうだら（生）	するめいか（冷） 遠洋
びんなが（冷）	すけとうだら（冷）	こういか類
めばち（生）	ほっけ	あかい（生）
めばち（冷）	めぬけ類	あかい（冷）
きはだ（生）	きちじ	その他のいか類（生）
きはだ（冷）	はたはた	その他のいか類（冷）
その他のまぐろ類（生）	にぎす類	たこ類
その他のまぐろ類（冷）	にべ・ぐち類	うに類（殻付）
まかじき（生）	えそ類	うに類（むき身）
まかじき（冷）	いぼだい	なまこ類
めかじき（生）	あなご	その他の水産動物類
めかじき（冷）	はも	海産ほ乳類
くろかわ類（生）	たちうお	その他の塩蔵品
くろかわ類（冷）	えい類	その他の加工品
その他のかじき類	まだい	あわび（殻付）
かつお（生）	ちだい・きだい	さざえ（殻付）
かつお（冷）	くろだい・へだい	はまぐり（殻付）
そうだがつお	いさき	あさり（殻付）
さめ類	さわら類	ほたてがい（殻付）
さけ類（生）	しいら類	ほたてがい（むき身）
さけ類（塩）	とびうお類	ほっきがい（殻付）
ます類	ぼら類	ほっきがい（むき身）
このしろ	すずき	かき（殻付）
にしん	いかなご	かき（むき身）
まいわし	あまだい	その他の貝類（殻付）
うるめいわし	とらふぐ	その他の貝類（むき身）
かたくちいわし	その他のふぐ類	こんぶ（干）
しらす	その他の魚類	わかめ（生）
まあじ	いせえび	わかめ（干）
むろあじ	くるまえび	その他の海藻類（生）
さば類	その他のえび類	その他の海藻類（干）
さんま	たらばがに	
ぶり類	ずわいがに	
ひらめ	べにずわいがに	
かれい類（生）	がざみ類	
かれい類（冷）	その他のかに類	

○

【3-2】産地水産物流通調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門については、水産部門について上場水揚価額の把握が可能。
- 品目については、マグロの上場水揚価額の把握が可能。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産		○												
	マグロ	○												
豆腐														
	大豆													

【3-2】産地水産物流通調査_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門である水産の産地水揚価額は5,774億円となっている。
- 品目では、マグロの産地水揚価額は853億円となっている。

データ番号【3-2-1】

海面漁業産出額

(単位:億円)

項目		川中			部門・品目	
		上場水揚量(t)	上場水揚価額(億円)	卸売価格(1kg当たり円)		
		2019年	2019年	2019年	部門	品目
総数	魚類・水産動物類	2,488,792	5,774.0	232	水産	
		2,218,145	5,200.8	234		
	まぐろ(生)	4,225	88.3	2,090		マグロ
	まぐろ(冷)	3,990	69.3	1,738		マグロ
	びんなが(生)	18,225	87.1	478		マグロ
	びんなが(冷)	6,610	29.7	449		マグロ
	めばち(生)	4,640	59.7	1,287		マグロ
	めばち(冷)	17,302	168.8	975		マグロ
	きはだ(生)	9,488	85.2	898		マグロ
	きはだ(冷)	34,763	135.3	389		マグロ
	その他のまぐろ類(生)	9,066	59.2	652		マグロ
	その他のまぐろ類(冷)	32,441	70.3	217		マグロ

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-1】経済構造実態調査_統計概要

■ 国内産業の経済活動状況を把握できる統計。

統計概要

統計名	経済構造実態調査
統計分類(分類1・2)	2020年経済構造実態調査(甲調査)_二次集計_企業等に関する集計1
統計内容	我が国の製造業(甲調査)及びサービス産業(乙調査)における企業等の経済活動の状況を明らかにし、国民経済計算の精度向上等に資するとともに、企業等に関する施策の基礎資料を得ることを目的とした統計。 - 本統計は、総務省・経済産業省の共管で実施している。 - 集計は日本標準産業分類における大分類、中分類又は小分類ごとに売上高を上位から累積し、当該分類ごとに売上高総額の8割を達成する範囲に含まれる法人企業を調査対象とし、全体を推計した上で結果表として集計している。 甲調査の属性的範囲 - 日本標準産業分類に掲げる産業に属する企業を対象とする。ただし、個人経営の企業及び次に産業に属する企業は範囲外とする。 ①「大分類A-農業、林業」、②「大分類B-漁業」、「③大分類C-工業、採石業、砂利採取業」、「④大分類D-建設業」、「⑤大分類N-生活関連サービス業、娯楽業」のうち、「中B分類79-その他の生活関連サービス業」(「小分類792-家事サービス業」に限る)、⑥「大分類R-サービス業(他に分類されないもの)」のうち、「中分類93-政治・経済・文化団体」、「中分類94-宗教」及び「中分類96-外国公務」、⑦「大分類S-公務(他に分類されるものを除く)」
提供周期	年次
最新調査年月	2020年(2019年実績)

調査データ

調査データ名称	企業等に関する集計1_企業産業(小分類)、経営組織別企業等数、売上(収入)金額、年間商品販売額、費用総額、主な費用項目及び付加価値額
調査データ上の主な項目	- 売上(収入)金額、年間商品販売額(うち卸売販売価格、うち小売販売価格)、付加価値額等 - 給与総額、租税公課、支払利息等
主な用語の定義	売上(収入)金額 - 商品等の販売額又は役務の給付によって実現した売上高、営業収益、完成工事高などをいう。有価証券、土地・建物、機械・器具などの有形固定資産など、財産を売却して得た収入は含めない。なお、「金融業、保険業」の企業等及び会社以外の法人の場合は経常収益としている。 年間商品販売額 - 購入した商品を販売した額をいう。そのうち、購入した商品を別の業者に販売したものを「卸売販売額」、個人や家庭に販売したものを「小売販売額」としている。「年間商品販売額」は内訳となるこれらの合計。

【4-1】経済構造実態調査_データの項目・粒度

- 日本標準産業分類の小分類に属する産業の売上(収入)金額や年間商品販売額(卸売販売額)の把握が可能。
- 年間商品販売額については、内数として業者販売の卸売販売額、個人・家庭販売の小売販売額も記載されている。

「経済構造実態調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 産業については、日本標準産業分類の小分類までの詳細があり、それらに対する売上(収入)金額や年間商品販売額等が記載されている。

【日本標準産業分類の小分類までの例】

＜食料品製造業の小分類までの例＞

大分類	E	製造業
中分類	09	食料品製造業
小分類	091	畜産食料品製造業
	092	水産食料品製造業
	093	野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業
	094	調味料製造業
	095	糖類製造業
	...	

＜飲食料品卸売業の小分類までの例＞

大分類	I	卸売業、小売業
中分類	52	飲食料品卸売業
小分類	52A	農畜産物・水産卸売業
	52B	米穀類卸売業
	52C	野菜・果実卸売業
	52D	食肉卸売業
	522	食料・飲料卸売業
	...	

＜飲料・たばこ・飼料製造業の小分類までの例＞

大分類	E	製造業
中分類	10	飲料・たばこ・飼料製造業
小分類	101	清涼飲料製造業
	102	酒類製造業
	103	茶・コーヒー製造業(清涼飲料を除く)
	104	製氷業
	105	たばこ製造業
	...	

＜飲食料品小売業の小分類までの例＞

大分類	I	卸売業、小売業
中分類	58	飲食料品小売業
小分類	581	各種食料品小売業
	582	野菜・果実小売業
	583	食肉小売業
	584	鮮魚小売業
	585	酒小売業
	...	

○

○

【4-1】経済構造実態調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門で見た場合、食料品製造業、飲食料品卸売業、飲食料品小売業における青果、畜産、水産の3部門の販売額の把握が可能。
- 品目については、飲食料品卸売業の米穀類卸売業として米の販売額を把握できる。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果								○	○		○			
	キャベツ													
穀物														
	米							○						
畜産								○	○		○			
	牛肉													
水産								○	○		○			
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【4-1】経済構造実態調査_調査対象部門・品目の統計値

- 飲食料品卸売業で調査対象部門を見た場合、穀物の売上(収入)金額は77,698億円、青果は102,532億円、畜産は56,709億円、水産は82,076億円。
- その内、品目で把握が可能な米の売上(収入)金額は77,698億円となっている。

データ番号【4-1-1】 経済構造実態調査の産業別売上(収入)金額等に関する統計値

(2019年数値 単位:億円)

項目	売上(収入)金額	川中・川下 (売上(収入)金額)			部門	品目
		年間商品販売額	うち卸売販売額	うち小売販売額		
産業計	14,989,325.7	4,993,182.4	3,498,251.6	1,494,930.8		
製造業	4,010,180.1	233,363.0	224,033.6	9,329.4		
食料品製造業	354,282.4	41,545.0	37,243.3	4,301.7		
畜産食料品製造業	99,490.3	12,236.5	11,914.7	321.8	畜産	
水産食料品製造業	46,033.1	8,625.6	8,057.6	568.0	水産	
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業	8,294.1	943.4	845.9	97.6	青果	
調味料製造業	27,746.7	1,562.2	1,541.8	20.4		
糖類製造業	5,321.5	127.6	125.0	2.6		
精穀・製粉業	13,703.2	2,904.3	2,881.8	22.5		
パン・菓子製造業	52,415.2	5,324.0	3,356.4	1,967.6		
動植物油脂製造業	9,077.0	323.4	309.7	13.7		
その他の食料品製造業	92,201.4	9,498.2	8,210.6	1,287.6		
飲料・たばこ・飼料製造業	108,583.5	5,634.8	5,151.3	483.5		
清涼飲料製造業	35,846.6	919.6	772.2	147.5		
酒類製造業	34,913.7	467.9	380.0	87.9		
その他	37,823.1	4,247.3	3,999.1	248.1		
その他	3,547,314.2	186,183.2	181,639.0	4,544.2		
卸売業、小売業	4,870,581.9	4,613,784.1	3,188,754.1	1,425,030.0		
飲食料品卸売業	725,600.3	703,211.5	695,438.9	7,772.6		
農畜産物・水産物卸売業	336,788.7	326,885.7	324,307.8	2,577.9		
米穀類卸売業	77,698.1	75,187.4	74,504.0	683.4		米
野菜・果実卸売業	102,532.8	99,172.7	98,723.1	449.6	青果	
食肉卸売業	56,709.4	55,254.2	54,606.3	647.9	畜産	
生鮮魚介卸売業	82,076.6	80,003.1	79,555.8	447.4	水産	
その他	17,771.8	17,268.2	16,918.6	349.7		
その他食料品卸売業	388,811.6	376,325.8	371,131.0	5,194.8		
飲食料品小売業	367,803.6	346,763.2	6,420.3	340,342.9		
各種食料品小売業	223,979.3	217,070.3	953.1	216,117.2		
野菜・果実小売業	5,691.4	5,468.8	211.9	5,256.9	青果	
食肉小売業	7,508.1	6,867.6	584.8	6,282.8	畜産	
鮮魚小売業	5,035.0	4,689.9	322.0	4,367.9	水産	
酒小売業	14,102.1	13,746.7	1,556.2	12,190.5		
菓子・パン小売業	26,120.9	22,630.2	1,778.9	20,851.3		
その他の飲食料品小売業	85,366.7	76,289.7	1,013.4	75,276.3		
その他	3,777,178.0	3,563,809.5	2,486,895.0	1,076,914.5		
宿泊業、飲食サービス業	221,455.4	7,099.4	3,068.7	4,030.6		
宿泊業	59,820.1	613.5	65.0	548.6		
飲食店	133,530.0	4,765.8	1,784.4	2,981.5		
持ち帰り・配達飲食サービス業	27,975.5	1,718.1	1,219.3	498.7		
持ち帰り飲食サービス業	4,162.8	836.1	752.2	83.9		
配達飲食サービス業	23,812.6	882.0	467.1	414.9		
その他	5,887,108.4	138,935.9	82,395.2	56,540.7		

【4-2】工業統計調査_統計概要

■ 国内産業の経済活動状況を把握できる統計。

統計概要

統計名	工業統計調査
統計分類	統計表_産業別統計表 統計表_品目別統計表
統計内容	我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とする統計。 - 本統計は、日本標準産業分類に掲げる「大分類E-製造業」に属する事業所の内、従業員4人以上の事業所に調査票を配布し、集計を行っている。そのため、従業員3人以下の事業所の数値について推計を行っている。 - 統計には産業別に集計した「産業別統計表」、品目別に集計した「品目別統計表」、都道府県別、市町村別に集計した「地域別統計表」の3つがある。 (参考)2020年の工業統計調査の回答率 - 調査対象事業所数 192,047、調査票回収数 182,544、回収率 95.1%
提供周期	年次
最新調査年月	2020年(2019年実績)

調査データ

調査データ名称	確報_産業別統計表 確報_品目別統計表
調査データ上の主な項目	各製造業の事業所数、従業者数、現金給与総額、出荷金額、製造品出荷額等、原材料使用額等、付加価値額等
主な用語の定義	製造品出荷額等 - 製造品出荷額、加工賃収入額、くず廃物の出荷額及びその他収入額の合計であり、消費税及び酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税を含んだ額。 原材料使用額等 - 原材料使用額、燃料使用額、電力使用額、委託生産費、製造業に関する外注費及び転売した商品の仕入額の合計額であり、消費税額等を含んだ額。 - なお、原材料使用額とは、主要原材料、補助材料、購入部分品、容器、包装材料、工場維持用の材料及び消耗品など、実際に製造等に使用した総使用額をいう。

【4-2】工業統計調査_データの項目・粒度

- 産業別統計表では日本標準産業分類の細分類に属する産業別の製造品出荷額等が、品目別統計表では経済産業省が独自に区分した品目別の出荷金額が把握できる。

「工業統計調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 工業統計調査の産業別統計表では日本標準産業分類の細分類に属する産業の製造品出荷額等までの記載がある。
- 品目別統計表では細分類に経済産業省独自の2桁の番号を付した品目コードがあり、品目別の出荷金額が記載されている。

【日本標準産業分類の細分類及び品目の例】

＜食料品製造業の細分類及び品目までの例＞

大分類	E			製造業
中分類	09			食料品製造業
小分類	091			畜産食料品製造業
細分類		0911		部分肉・冷凍肉製造業
品目			091111	部分肉・冷凍肉(ブロイラー除く)
細分類		0912		肉加工品製造業
品目			091211	肉製品
品目			091212	処理牛乳
			...	
小分類	092			水産食料品製造業
細分類		0921		水産缶詰・瓶詰製造業
品目			092111	まぐろ缶詰
品目			092112	さば缶詰
品目			092119	その他の水産缶詰・瓶詰
			...	
小分類	093			野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業
細分類		0931		野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業(野菜漬物を除く)
品目			093111	野菜缶詰(瓶詰・つぼ詰を含む)
品目			093112	果実缶詰(瓶詰・つぼ詰を含む)
品目			093119	その他の缶詰(瓶詰・つぼ詰を含む)
			...	

○

【4-2】工業統計調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 調査対象部門で見た場合、畜産、水産、青果の3部門の製造業の出荷額の把握が可能。
- 品目では水産缶詰・瓶詰製造業におけるまぐろ缶詰(マグロ加工)の出荷額、精米・精麦業における精米(米)の出荷額を把握できる。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果								○						
	キャベツ													
穀物														
	米								○					
畜産								○						
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【4-2】工業統計調査_調査対象部門・品目の統計値

- 工業統計調査の品目別統計表で調査対象部門を見た場合、畜産(畜産食料品製造業)の出荷金額は62,821億円、水産(水産食料品製造業)は29,607億円、青果(野菜缶詰・果実缶詰、農産保存食料品製造業)は7,725億円。
- 品目ではマグロは207億円、米は7,713億円となっている。

品目別統計表に関する統計値

データ番号【4-2-1】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川中	部門・品目	
	出荷金額	部門	品目
製造業	2,862,552.3		
食料品製造業	276,861.8		
畜産食料品製造業	62,821.4	畜産	
部分肉・冷凍肉製造業	17,414.2		
肉加工品製造業	8,979.9		
その他	36,427.3		
水産食料品製造業	29,607.3	水産	
水産缶詰・瓶詰製造業	1,021.3		
まぐろ缶詰	207.4		マグロ
その他	28,586.0		
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業	7,725.1	青果	
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業(野菜漬物を除く)	4,360.9		
野菜漬物製造業(缶詰、瓶詰、つぼ詰を除く)	3,364.2		
精穀・製粉業	13,368.2		
精米・精麦業	8,006.8		
精米(砕精米を含む)	7,713.6		米
その他	5,361.5		
パン・菓子製造業	52,119.4		
米菓製造業	3,843.6		
米菓	3,843.6		
その他	48,275.7		
動植物油脂製造業	8,597.6		
動植物油脂製造業(食用油脂加工業を除く)	5,999.6		
大豆油 (参考)	335.2		
食用油脂加工業	2,598.0		
その他の食料品製造業	79,511.8		
その他	25,709.1		
飲料・たばこ・飼料製造業	92,398.3		
清涼飲料製造業	23,638.4		
酒類製造業	31,533.5		
その他	37,226.4		
その他	2,493,292.2		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-2】工業統計調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 産業別統計表に関する統計値

データ番号【4-2-2】

(2019年数値 単位:億円)

項目		川中 製造品出荷額等	部門・品目	
			部門	品目
製造業		2,909,404.2		
食料品製造業		263,626.8		
畜産食料品製造業		63,554.1	畜産	
部分肉・冷凍肉製造業		17,722.4		
肉加工品製造業		8,641.6		
その他		37,190.0		
水産食料品製造業		24,325.8	水産	
水産缶詰・瓶詰製造業		933.2		
その他		23,392.6		
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業		6,518.0	青果	
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業(野菜漬物を除く)		3,600.3		
野菜漬物製造業(缶詰, 瓶詰, つぼ詰を除く)		2,917.6		
精穀・製粉業		9,525.8		
精米・精麦業		4,891.7		
その他		4,634.1		
パン・菓子製造業		51,177.4		
米菓製造業		3,521.2		
その他		47,656.2		
動植物油脂製造業		9,527.5		
動植物油脂製造業(食用油脂加工業を除く)		6,089.5		
食用油脂加工業		3,438.0		
その他の食料品製造業		75,218.2		
その他		23,780.1		
飲料・たばこ・飼料製造業		85,029.5		
清涼飲料製造業		23,364.1		
酒類製造業		29,550.2		
その他		32,115.2		
その他		2,560,747.9		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-3】商業動態統計調査_統計概要

■ 全国の商業を営む企業の事業活動の実態を把握できる統計。

統計概要

統計名	商業動態統計調査
統計分類	時系列データ_長期時系列データ(主要統計表)
統計内容	全国の商業を営む事業所及び企業の事業活動の動向を明らかにするための商業動態統計を作成することを目的とした統計。 - 本統計は、日本標準産業分類「大分類I-卸売業、小売業」のうち代理商、仲立業を除く全国の事業所(企業)を対象としている。 - 調査方法は経済産業省が委託する民間事業者を通じて報告義務者に調査票の記入を依頼しそれを回収する形で実施。 - 経済センサス-活動調査の対象事業所を母集団とし、業御種別に目標制度が5%(卸売業は8%)となるように標本数を決めて調査を実施し、販売額等の推定は標本結果から比推定によって行っている。(ただし、百貨店・スーパー分は実額加算)
提供周期	年次(月次統計もある)
最新調査年月	2021年

調査データ

調査データ名称	時系列データ_業種別商業販売額及び前年(度、同期、同月) 時系列データ_百貨店・スーパー商品別販売額及び前年(度、同期、同月)比 時系列データ_コンビニエンスストア商品別販売額及び前年(度、同期、同月)比 時系列データ_ドラッグストア商品別販売額等及び前年(度、同期、同月)比
調査データ上の主な項目	業種別の販売額
主な用語の定義	販売額 - 店頭販売のほか、カタログや新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット等で広告を行い、通信手段によって個人からの注文を受け、商品を販売する事業、家庭等を訪問し個人への物品販売又は販売契約する事業等の販売額も含まれる。 百貨店 - 日本標準産業分類の百貨店・総合スーパーのうち、下記のスーパーに該当しない事業所であって、かつ、売場面積が特別及び政令指定都市で3,000平方メートル以上、その他の地域では1,500平方メートル以上の事業所。 スーパー - 売場面積の50%以上についてセルフサービス方式を採用している事業所であって、かつ、売場面積が1,500平方メートル以上の事業所。 コンビニエンスストア 500店舗以上有するチェーン企業本部で、経済産業大臣が指定する企業。 ドラッグストア - 事業所を50店舗以上有する企業もしくはドラッグストアの年間販売額が100億円以上の企業で、経済産業大臣が指定する企業。

①主要統計のデータ特性把握 4. 経済産業省統計の調査・統計

【4-3】商業動態統計調査_データの項目・粒度

■ 商業動態統計業種分類に基づく産業別の販売額が把握できる。

「商業動態統計調査」データの項目・粒度				データ領域		
				川上	川中	川下
■ 商業動態統計業種分類に基づく産業別の販売額が記載されている。						
【(参考)商業動態統計業種分類と日本標準産業分類の対応】						
商業動態統計業種分類	日本標準産業分類	商業動態統計業種分類	日本標準産業分類			
各種商品卸売業	501 各種商品卸売業	各種商品小売業	56 各種商品小売業(561 百貨店・総合スーパー含む)			
繊維品卸売業	511 繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	繊維・衣服・身の回り品小売業	57 繊維・衣服・身の回り品小売業			
衣服・身の回り品卸売業	512 衣服卸売業					
	513 身の回り品卸売業	飲食料品小売業	58 飲食料品小売業(5891 コンビニエンスストア含む)			
農畜産物水産物卸売業	521 農畜産物・水産物卸売業					
食料・飲料卸売業	522 食料・飲料卸売業	自動車小売業	591 自動車小売業(5914 二輪自動車小売業(原動機付自転車を含む)を除く)			
建築材料卸売業	531 建築材料卸売業	機械器具小売業	593 機械器具小売業(自動車、自転車を除く)			
化学製品卸売業	532 化学製品卸売業	燃料小売業	605 燃料小売業			
	533 石油・鉱物卸売業					
鉱物・金属材料卸売業	534 鉄鋼製品卸売業	医薬品・化粧品小売業	603 医薬品・化粧品小売業(6031 ドラッグストア含む)			
	535 非鉄金属卸売業					
機械器具卸売業	54 機械器具卸売業	その他小売業	5914 二輪自動車小売業(原動機付自転車を含む)			
産業機械器具卸売業	541 産業機械器具卸売業		592 自転車小売業			
自動車卸売業	542 自動車卸売業					
電気機械器具卸売業	543 電気機械器具卸売業					
その他の機械器具卸売業	549 その他の機械器具卸売業					
家具・建具・じゅう器具卸売業	551 家具・建具・じゅう器具等卸売業		60 その他の小売業(6091 ホームセンター含む)(603 医薬品・化粧品小売業、605 燃料小売業を除く)			
医薬品・化粧品卸売業	552 医薬品・化粧品等卸売業					
	536 再生資源卸売業					
	553 紙・紙製品卸売業					
その他の卸売業	559 他に分類されない卸売業(5598 代理商、仲立業を除く)		61 無店舗小売業			

【4-3】商業動態統計調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 商業動態統計調査は商業動態統計業種分類に基づく業種別の販売額の統計であるため、調査対象部門及び品目での実態把握はできない。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【4-3】商業動態統計調査_調査対象部門・品目の統計値

- 商業動態統計調査では農畜産物・水産物卸売業、食料・飲料卸売業、飲食料品小売業の出荷額は把握できるが、調査対象部門及び品目における出荷額は把握できない。
- ただし、55～57頁で示している通り、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアにおける飲食料品の出荷額を把握できる。

データ番号【4-3-1】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川中・川下			部門・品目	
	業種別商業販売額			部門	品目
	2019年販売額	2020年販売額	2021年販売額		
商業計	4,599,750.0	5,031,160.0	5,519,100.0		
卸売業計	3,149,280.0	3,566,580.0	4,014,480.0		
各種商品卸売業	330,370.0	217,900.0	223,240.0		
繊維品卸売業	29,090.0	21,170.0	20,690.0		
衣服・身の回り品卸売業	38,030.0	39,850.0	39,900.0		
農畜産物・水産物卸売業	236,630.0	333,860.0	347,730.0		
食料・飲料卸売業	492,750.0	528,950.0	534,330.0		
建築材料卸売業	182,000.0	209,020.0	214,650.0		
化学製品卸売業	156,760.0	211,760.0	246,540.0		
鉱物・金属材料卸売業	436,160.0	461,670.0	615,100.0		
機械器具卸売業	684,150.0	905,410.0	1,064,140.0		
産業機械器具卸売業	110,720.0	184,490.0	205,760.0		
自動車卸売業	126,740.0	144,930.0	163,850.0		
電気機械器具卸売業	394,960.0	496,340.0	603,230.0		
その他の機械器具卸売業	51,730.0	79,660.0	91,310.0		
家具・建具・じゅう器卸売業	21,720.0	41,220.0	44,600.0		
医薬品・化粧品卸売業	256,260.0	281,930.0	306,980.0		
その他の卸売業	285,370.0	313,840.0	356,580.0		
小売業計	1,450,470.0	1,464,570.0	1,504,620.0		
各種商品小売業	117,950.0	102,070.0	103,460.0		
繊維物・衣服・身の回り品小売業	109,880.0	86,380.0	86,100.0		
飲食料品小売業	453,620.0	451,450.0	453,280.0		
自動車小売業	182,040.0	165,920.0	170,010.0		
機械器具小売業	62,560.0	94,290.0	100,350.0		
燃料小売業	129,050.0	118,930.0	138,390.0		
医薬品・化粧品小売業	105,380.0	142,590.0	150,260.0		
その他小売業	212,970.0	195,030.0	188,620.0		
無店舗小売業	77,020.0	107,910.0	114,160.0		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-3】商業動態統計調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) 百貨店・スーパーの商品販売額に関する統計値

データ番号【4-3-2】

(単位:億円)

項目	川下			部門・品目	
	百貨店・スーパー商品別販売額			部門	品目
	2019年販売額	2020年販売額	2021年販売額		
合計	193,961.8	195,049.5	199,071.4		
衣料品	37,541.0	27,625.8	27,821.9		
紳士服・洋品	6,433.5	4,718.6	4,496.2		
婦人・子供服・洋品	18,716.8	13,379.2	13,520.5		
その他の衣料品	2,096.5	1,713.6	1,630.8		
身の回り品	10,294.2	7,814.4	8,174.4		
飲食料品	116,225.0	131,166.4	134,758.2		
その他	40,195.7	36,257.2	36,491.3		
家具	960.5	816.8	818.2		
家庭用電気機械器具	1,781.7	1,887.2	1,805.0		
家庭用品	4,301.4	4,320.5	4,036.6		
その他の商品	31,461.0	28,236.4	28,843.9		
食堂・喫茶	1,691.2	996.4	987.6		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-3】商業動態統計調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) コンビニエンスストアの商品販売額に関する統計値

データ番号【4-3-3】

(単位:億円)

項目	川下			部門・品目	
	コンビニエンスストア			部門	品目
	2019年販売額	2020年販売額	2021年販売額		
合計	121,841.4	116,422.9	117,600.9		
商品販売額	115,034.4	110,291.3	111,535.9		
食品	78,521.9	73,964.0	73,770.3		
FF・日配食品	46,027.7	43,080.7	43,005.2		
加工食品	32,494.2	30,883.3	30,765.1		
非食品	36,512.6	36,327.3	37,765.7		
サービス売上高	6,807.0	6,131.6	6,065.0		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-3】商業動態統計調査_調査対象部門・品目の統計値

(参考) ドラッグストアの商品販売額に関する統計値

データ番号【4-3-4】

(単位: 億円)

項目	川下			部門・品目	
	ドラッグストア商品別販売額			部門	品目
	2019年販売額	2020年販売額	2021年販売額		
合計	68,356.3	72,840.8	73,065.8		
調剤医薬品	5,524.6	5,955.0	6,291.7		
OTC医薬品	9,002.2	8,906.1	8,681.9		
ヘルスケア用品(衛生用品)・介護・ベビー	4,330.0	5,487.1	5,062.2		
健康食品	2,217.6	2,263.9	2,310.0		
ビューティケア(化粧品・小物)	10,082.1	9,035.6	9,057.5		
トイレタリー	6,286.9	6,545.5	6,540.4		
家庭用品・日用消耗品・ペット用品	10,274.9	11,471.9	11,399.6		
食品	19,420.2	21,834.1	22,338.4		
その他	1,217.8	1,341.7	1,384.0		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【4-4】電子商取引実態調査_統計概要

■ 電子商取引(BtoC-EC)の利活用動向が把握できる統計。

統計概要

統計名	電子商取引実態調査
統計分類	電子商取引に関する市場調査
統計内容	本調査は電子商取引(EC)を推進するための基礎的調査として、消費者向け電子商取引(BtoC-EC)の市場規模及び電子商取引化率を推計した統計。 - 調査対象国は日本、米国、中国の3カ国で、日本に関しては国内BtoC-EC、国内BtoB-EC、国内CtoC-EC、越境ECを調査内容としている。 - 調査は公知情報調査、業界団体及び事業者ヒアリング調査にて行っている。 ※公知情報調査は、日本、米国、中国における新聞、雑誌、業界専門誌、政府の統計・報告書、各種論文、調査会社レポート、商用データベース情報、事業者やメディアのホームページ情報等を収集・分析している。
提供周期	年次
最新調査年月	2020年

調査データ

調査データ名称	令和2年度電子商取引に関する市場調査_公表資料(令和3年7月30日)
調査データ上の主な項目	- 物販系分野のBtoC-EC市場規模 - サービス系分野のBtoC-EC市場規模 - デジタル系分野のBtoC-EC市場規模
主な用語の定義	EC - インターネットを利用して、受発注がコンピューターネットワークシステム上で行われることを要件とする。 - 上記により、見積りのみがコンピューターネットワークシステム上で行われ、受発注指示が人による口頭、書面、電話、FAX等を介して行われる取引は、本調査のECには含めない。Eメール(またはその添付ファイル)による受発注のうち、定型フォーマットによらないものもECには含めない。 BtoC-EC市場規模 - BtoC-EC市場規模を企業と消費者間でのECによる取引金額としている。消費者への販売は、家計が費用を負担することを指し、消費財であったも個人事業者の事業用途の物品購入は原則として含めない。 飲食サービス - サービス分野のカテゴリーの一つである「飲食サービス」は、インターネットを使用した飲食店の予約のことを指す。座席のみの予約、料理内容の予約、事前のネット予約全てを対象とする。

【4-4】電子商取引実態調査_データの項目・粒度

■ 物販系、サービス系、デジタル系3分野におけるBtoC-EC市場規模を把握できる。

「電子商取引実態調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- BtoC-EC市場規模が物販系分野、サービス系分野、デジタル系分野の3つに分けて記載されている。
さらに各分野が次のカテゴリーに分かれており、各カテゴリーの市場規模も記載されている。

＜物販系分野のカテゴリー＞

物販系分野 計

食品、飲料、酒類
生活家電、AV機器、PC・周辺機器等
書籍、映像・音楽ソフト
化粧品、医薬品
生活雑貨、家具、インテリア
衣類・服装雑貨等
自動車、自動二輪車、パーツ等
その他

＜サービス系分野のカテゴリー＞

サービス系分野 計

旅行サービス
飲食サービス
チケット販売
金融サービス
理美容サービス
フードデリバリーサービス
その他(医療、保険、住居関連、教育等)

＜デジタル系分野のカテゴリー＞

デジタル系分野 計

電子出版(電子書籍・電子雑誌)
優良音楽配信
優良動画配信
オンラインゲーム
その他

○

【4-4】電子商取引実態調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 電子商取引実態調査で示されているカテゴリでは、調査対象部門及び品目のBtoC-EC市場規模は把握できない。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【4-4】電子商取引実態調査_調査対象部門・品目の統計値

- 調査対象部門及び品目でのBtoC-EC市場規模の市場規模の把握はできないが、「食品、飲食、酒類」、「飲食サービス」、「フードデリバリーサービス」の категорияでは把握が可能で、各市場規模はそれぞれ22,086億円、5,975億円、3,487億円となっている。

データ番号【4-4-1】

(2019年数値 単位:億円)

項目	川下		部門・品目	
	BtoC-EC 市場規模		部門	品目
	2019年	2020年		
BtoC-EC市場規模	193,609.0	192,778.0		
物販系分野 計	100,514.0	122,332.0		
食品、飲料、酒類	18,233.0	22,086.0		
生活家電、AV機器、PC・周辺機器等	18,239.0	23,489.0		
書籍、映像・音楽ソフト	13,015.0	16,238.0		
化粧品、医薬品	6,611.0	7,787.0		
生活雑貨、家具、インテリア	17,428.0	21,322.0		
衣類・服装雑貨等	19,100.0	22,203.0		
自動車、自動二輪車、パーツ等	2,396.0	2,784.0		
その他	5,492.0	6,423.0		
サービス系分野 計	71,673.0	45,832.0		
旅行サービス	38,971.0	15,494.0		
飲食サービス	7,290.0	5,975.0		
チケット販売	5,583.0	1,922.0		
金融サービス	5,911.0	6,689.0		
理美容サービス	6,212.0	6,229.0		
フードデリバリーサービス	7,706.0	3,487.0		
その他(医療、保険、住居関連、教育等)		6,036.0		
デジタル系分野 計	21,422.0	24,614.0		
電子出版(電子書籍・電子雑誌)	3,355.0	4,569.0		
優良音楽配信	706.0	783.0		
優良動画配信	2,404.0	3,200.0		
オンラインゲーム	13,914.0	14,957.0		
その他	1,043.0	1,105.0		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【5-1】家計調査_統計概要

■ 一世帯当たりの品目別支出が把握できる統計。

統計概要

統計名	家計調査
統計分類	家計調査(家計収支編)
統計内容	本調査は、国民生活における家計収支の実態を把握し、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を提供することを目的とし、推計による算出をしている。家計調査の調査対象は学生の単身世帯等を除く全国の世帯で、2015年の国勢調査によると、これらの世帯は約5157万世帯で全国の世帯の約96.5%を占めている。この中から無作為に選定された調査世帯で6か月間(単身世帯は3か月間)、毎日のすべての収入と支出を記入し調査している。
提供周期	年次
最新調査年月	2020年

調査データ

調査データ名称	家計調査_家計収支編_＜品目分類＞1世帯当たり年間の品目別支出金額_都市階級・地方・都道府県庁所在市別_総世帯
調査データ上の主な項目	品目別支出金額の世帯当たり平均額
主な用語の定義	実支出 ・「消費支出」と「非消費支出」を合計した支出である。 消費支出 ・いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額である。 非消費支出 ・税金や社会保険料など原則として世帯の自由にならない支出である。 用途分類 ・世帯で購入した商品を、その世帯で使うか、それとも他の世帯に贈るかという使用目的によって分類する方法である 品目分類 ・用途にかかわらず、同じ商品は同じ項目に分類する方法である

【5-1】家計調査_データの項目・粒度

■ 一世帯当たりの、品目別支出が把握できる。

「家計調査(家計収支編)」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 消費支出は、詳細な品目別にわかれており、今回のサンプル品目をすべて網羅している。しかし、支出額は一世帯当たり平均額であるため、市場規模を把握できるものではない。
- 収支項目分類の中の、消費品目の一部は以下になっている。

項目			
消費支出	食料		
		穀類	
		米	
		パン	
		麺類	
		他の穀類	
		魚介類	
		生鮮魚介	鮮魚
			まぐろ
			貝類
		塩干魚介	
		魚肉練製品	
		他の魚介加工品	
		肉類	
		生鮮肉	牛肉
		加工肉	
		野菜・海藻	
		生鮮野菜	葉茎菜
			キャベツ
			根菜
			他の野菜
		乾物・海藻	
		大豆加工品	豆腐
			油揚げ・がんもどき
			納豆
			他の大豆製品
		他の野菜・海藻加工品	

○

【5-1】家計調査_調査対象部門・品目の把握可否

■ 家計調査が示している数値では、消費の市場規模全体を把握できない。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

■ 家計調査が示している数値では、消費の市場規模全体を把握できないが、品目別の平均支出金額を把握することができる。

(単位:円)

項目			川下					
			品目別支出金額	平均				
					2019年			
消費支出			2,996,452					
食料			819,064					
	穀類			62,863				
		米			18,052			
		パン			26,304			
		麺類			14,259			
		他の穀類			4,248			
	魚介類			58,302				
		生鮮魚介	鮮魚			32,181		
				まぐろ			29,563	
			貝類			4,059		
						2,619		
		塩干魚介			10,553			
		魚肉練製品			6,776			
		他の魚介加工品			8,793			
	肉類			67,889				
		生鮮肉			53,981			
			牛肉			16,343		
		加工肉			13,908			
	野菜・海藻			83,376				
		生鮮野菜	葉茎菜			54,316		
				キャベツ			16,510	
						2,154		
			根菜			13,415		
			他の野菜			24,391		
		乾物・海藻			7,437			
		大豆加工品			10,697			
			豆腐			4,143		
油揚げ・がんもどき						2,272		
納豆						3,474		
他の大豆製品						808		
他の野菜・海藻加工品				10,926				

[illegible]

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【5-2】家計消費状況調査_統計概要

■ インターネットを利用した、世帯当たりの月間支出が把握できる統計。

統計概要

統計名	家計消費状況調査
統計分類	家計消費状況調査
統計内容	本調査は、個人消費動向の的確な把握のために、ICT関連の消費やインターネットを利用した購入状況、購入頻度が少ない高額商品・サービスの消費等の実態を安定的に捉えることを目的としている。全国を地方別都市階級別に層化し、合計3,000の調査地点を抽出したのち、各調査地点から10世帯を選定し、合計約30,000世帯を対象としている。調査の対象は、世帯に関する事項、電子マネーの利用状況、インターネットを利用した購入状況である。
提供周期	年次
最新調査年月	2020年

調査データ

調査データ名称	全国・地方・都市階級別_インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出(総世帯)
調査データ上の主な項目	インターネットを利用した支出総額(22品目計)_自宅用計_全国_平均
主な用語の定義	インターネットを利用して購入した財(商品)・サービス ・インターネット上で財(商品)・サービスの注文や予約をした場合をいう。店頭で直接注文や予約をした場合は含めない。 - 食料品(健康食品は除く) ・飲料・出前以外の食用のもの。贈答用の食料品及び健康食品を除く。 - 飲料(酒類を含む) ・乳製品(牛乳)、薬用品以外の飲み物。粉末など形状は問わない。また、缶・瓶・パック・ペットボトル入りも含む。 - 出前(弁当、宅配のピザなど。外食を含む) ・飲食店から提供されるもの。外食した場合も含む。

【5-2】家計消費状況調査_データの項目・粒度

- 品目分類が他の統計と異なっており、詳細な品目別データが把握できない。

「家計消費状況調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- インターネットを利用した支出総額の品目は、他の統計等と異なっており、川上または川下との流れを把握することが困難である。
- 食料品などについては、加工前または加工後であるかの区別がない。
- 消費品目の一部は以下になっている。

品目	
インターネットを利用した支出総額(22品目計)	
自宅用計	51 贈答品
52～54計(食料)	
	52 食料品
	53 飲料
	54 出前
	55 家電
	56 家具
57～59計(衣類・履物)	
	57 紳士用衣類
	58 婦人用衣類
	59 履物・その他の衣類
60～61計(保健・医療)	
	60 医薬品
	61 健康食品
	62 化粧品
	63 自動車等関係用品
	64 書籍
	65 音楽・映像ソフト、パソコン用ソフト、ゲームソフト
66～67計(デジタルコンテンツ)	
	66 電子書籍
	67 ダウンロード版の音楽・映像、アプリなど
	68 保険
69～70計(旅行関係費)	
	69 宿泊料、運賃、パック旅行費(インターネット上での決済)
	70 宿泊料、運賃、パック旅行費(上記以外の決済)
	71 チケット
	72 上記に当てはまらない商品・サービス

○

【5-2】家計消費状況調査_調査対象部門・品目の把握可否

■ 家計消費状況調査が示している数値では、品目の情報が足りず、消費の市場規模全体を把握できない。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

■ 家計消費状況調査が示している数値では、インターネットを利用した消費の市場規模全体を把握できず、品目についても詳細な把握が困難である。

(単位:円)

[illegible]

Copyright © Nomura Agri Planning & Advisory Co., Ltd. All rights reserved

【5-3】全国家計構造調査_統計概要

■ 一世帯当たりの購入先別月間支出が、把握できる統計。

統計概要

統計名	全国家計構造調査
統計分類	家計収支に関する結果
統計内容	本調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする調査である。全国から無作為に選定した約90,000世帯を対象とした。消費支出については、品目分類と用途分類の二つの体系があるが、全国家計構造調査では品目分類を基本としている。
提供周期	年次
最新調査年月	2019年

調査データ

調査データ名称	世帯の種類(総世帯)、年間収入階級(44区分)、世帯主の性別(3区分)、購入先(10区分)、購入形態(4区分)、収支項目分類(細分類)別1世帯当たり1か月間の支出ー全国
調査データ上の主な項目	購入先_合計
主な用語の定義	購入先 ・通信販売(インターネット): インターネット上で注文を行い、品物を購入又はサービスの提供を受ける形態(いわゆるネットショッピング)をいう。 ・通信販売(その他): 通信販売(インターネット)以外で、新聞・雑誌、ラジオ・テレビ、カタログ等で広告し、郵便、電話等で注文を行い、品物を購入又はサービスの提供を受ける形態をいう。 ・一般小売店: スーパー、コンビニ、百貨店、生協、ディスカウントストア・量販専門店以外の小売店をいう。例えば、個人商店、ガソリンスタンド、書店、雑貨店、高級ブランドショップ、新聞小売店、チケットショップなどをいう。 ・スーパー: 食品、日用雑貨、衣類、電化製品など、各種の商品をセルフサービスで販売する小売店をいう。 ・コンビニエンスストア: 食品を中心に、家事雑貨、雑誌など各種最寄り品を取りそろえ、セルフサービスで販売しており、店舗規模が小さく、24時間又は長時間営業を行う小売店をいう。 ・百貨店: 衣・食・住にわたる各種の商品を主に対面販売により販売しており、常時50人以上の従業員のいる小売店をいう。 ・生協: 購買組合員の出資によってつくられている生活協同組合、農業協同組合や会社、官公庁が職員のために設けている購買部をいう。 ・ディスカウントストア・量販専門店: 店頭商品を原則的に全品値引きして安い価格を売り物としている小売店、家電や衣料品(ファストファッションを含む。)などの量販専門店、主に医薬品や化粧品を販売しているドラッグストア、均一価格で多様な商品を販売する小売店や格安チケットショップなどをいう。 ・その他: 上記以外の店、例えば美容院、クリーニング店、問屋、市場、露店、行商、リサイクルショップなどをいう。また、飲食店(レストラン、ファーストフード、居酒屋等)や自動販売機、電気料金や都市ガス料金などの支払も含める。

【5-3】全国家計構造調査_データの項目・粒度

- 品目分類が部門となっており一定のデータが取得できるが、詳細な品目別データが把握できない。
- 消費支出金額は、一世帯当たりの月間平均額であり、全体的な市場規模を把握することが困難である。

「全国家計構造調査」データの項目・粒度

データ領域

川上

川中

川下

- 消費支出に関連する品目分類は、部門までを把握できる粒度である。
- 購入先別の消費支出金額を把握することができるので、川下から消費者までの流通経路を把握することができる。
- 消費支出金額は、一世帯当たりの月間平均額であるため、全体的な市場規模を把握することが困難である。
- 消費支出の項目の一部である食料は、左下のような項目に分けられている。

収支項目分類	
2_消費支出	
201_食料	
20101_穀類	
20102_魚介類	
20103_肉類	
20104_乳卵類	
20105_野菜・海藻	
20106_果物	
20107_油脂・調味料	
20108_菓子類	
20109_調理食品	
20110_飲料	
20111_酒類	
20112_外食	
201121_一般外食	
201122_学校給食	
201123_賄い費	

購入先
通信販売(インターネット)
通信販売(その他)
一般小売店
スーパー
コンビニエンスストア
百貨店
生協・購買
ディスカウントストア・量販専門店
その他

○

【5-3】全国家計構造調査_調査対象部門・品目の把握可否

- 全国家計構造調査が示している数値は、月間平均額であり、且つ品目の情報が足りず、消費の市場規模全体を把握できない。

部門	川上						川中				川下			
	品目	生産	生産者 (6次化)	輸入	輸出	農林水産 業協同組 合等	卸売市場	食料品 卸売業	食料品 製造業	飲料 製造業	飲食料品 小売業	宿泊業・ 飲料サー ビス業	電子 商取引	消費
青果														
	キャベツ													
穀物														
	米													
畜産														
	牛肉													
水産														
	マグロ													
豆腐														
	大豆													

【5-3】全国家計構造調査_調査対象部門・品目の統計値

- 全国家計構造調査が示している数値では、月間平均額であり、且つ品目の情報が足りず、消費の市場規模全体を把握できない。

データ番号【5-3-1】

(単位:円)

収支項目分類	川下										部門・品目	
	品目別支出金額 月額平均											
	2019年											
	0_合計	1_通信販売(インターネット)	2_通信販売(その他)	3_一般小売店	4_スーパー	5_コンビニエンスストア	6_百貨店	7_生協・購買	8_ディスカウントストア・量販専門店	9_その他	部門	品目
2_消費支出	234,380	4,961	1,629	21,910	36,729	4,559	4,784	3,598	11,062	59,797		
201_食料	63,556	648	521	5,805	31,189	3,232	1,588	2,916	2,643	13,737		
20101_穀類	4,804	52	33	697	2,708	291	92	248	264	410		
20102_魚介類	4,704	45	51	425	3,348	49	175	325	137	137		
20103_肉類	5,440	29	25	374	4,226	38	151	318	205	68		
20104_乳卵類	2,715	19	17	210	1,820	89	20	215	160	94		
20105_野菜・海藻	6,466	54	61	467	4,800	66	113	499	202	194		
20106_果物	2,548	37	38	280	1,625	32	48	192	80	209		
20107_油脂・調味料	2,864	43	51	199	1,997	53	56	187	195	75		
20108_菓子類	5,257	62	34	1,249	2,148	459	402	164	383	349		
20109_調理食品	9,438	98	91	1,151	4,973	1,274	413	541	286	545		
20110_飲料	3,655	110	79	413	1,589	495	73	145	317	386		
20111_酒類	2,612	61	20	340	1,399	152	46	82	414	87		
20112_外食	13,055	37	21	0	556	235	0	0	0	11,182		

※上表は統計データの項目の一部を加工、または並び替えをして再集計している。

【6-1】貿易統計_統計概要

■ 日本の輸出入に関し、品目別や貿易相手国別に金額と数量が把握できる統計。

（内容や数値は、農林水産物輸出入統計と同一と確認できたため、データの項目・粒度、調査対象部門・品目の把握可否および統計値の記載は省略する）

統計概要

統計名	貿易統計
統計分類	普通貿易統計
統計内容	本調査は、関税法の規定に基づき、日本から外国への輸出及び外国から日本への輸入について、税関に提出された輸出入の申告を集計し、定期的に公表しているものである。貿易統計の種類は3つに大別され、その中の1つである普通貿易統計は、日本から輸出され又は日本に輸入された貨物について、金額及び数量を品目別、国(地域)別等に示した統計である。9桁の統計番号単位で品目を計上しており、この統計番号ごとに集計した統計表が「統計品別表」あるいは「品別表」となっている。
提供周期	年次
最新調査年月	2021年

調査データ

調査データ名称	貿易統計_輸出統計品目表 貿易統計_輸入統計品目表 貿易統計_統計品別表_2019年12月分 統計品別表(輸出 1-12月:確定) 貿易統計_統計品別表_2019年12月分 統計品別表(輸入 1-12月:確定)
調査データ上の主な項目	H.Sコード 品名 数量 金額
主な用語の定義	統計番号 ・税関への輸出入の申告の際、申告する貨物に対応する9桁の番号をしている。統計番号の6桁目までは、HS条約(商品の名称及び分類についての統一システムに関する国際条約:International Convention on the Harmonized Commodity Description and Coding System)に基づき、国際的に統一されており、類(統計番号の上位2桁)、項(同4桁)、号(同6桁)、統計番号と大分類から小分類へと体系的なものとなっている。

NOMURA